# 日本地震学会 2018 年度秋季大会

日程　2018 年 10 月 9 日（火）～ 11 日（木）
会場　ビッグパレットふくしま（郡山市南 2-52）

大会受付：１階多目的展示ホール（A）脇
A会場:１階コンベンションホール（A），　B会場:１階コンベンションホール（B）
C会場：３階中会議室，　D会場：４階プレゼンテーションルーム
授賞式および記念講演：１階コンベンションホール（A）
ポスター会場・団体展示：１階多目的展示ホール（A）

| | | A会場 | B会場 | C会場 | D会場 |
|---|---|---|---|---|---|
| 10 月 9 日（火） | 09:30～12:20 | S14. 強震動・地震災害 | S13. 地震予知・予測<br>S24. 大阪府北部の地震 | S17. 地震教育・地震学史<br>S12. 地球化学・地下水<br>S22. 2011 年東北地方太平洋沖地震の地震学* | S11. 岩石実験・地殻応力<br>S20. 伝える・伝わる地震学 |
| | 13:15～15:30 | S19. 授賞式および記念講演　（A会場） | | | |
| | 15:55～17:15 | S14. 強震動・地震災害 | S24. 大阪府北部の地震 | S22. 2011 年東北地方太平洋沖地震の地震学* | S20. 伝える・伝わる地震学 |
| | 17:15～18:45 | ポスターセッション コアタイム（会場：１階多目的展示ホール）<br>S12. 地球化学・地下水，S13. 地震予知・予測，S14. 強震動・地震災害，S17. 地震教育・地震学史，<br>S22. 2011 年東北地方太平洋沖地震の地震学―７年間の成果，S24. 大阪府北部の地震 | | | |
| 10 月 10 日（水） | 09:00～12:00 | S24. 大阪府北部の地震†<br>S23. 地震活動とその物理 | S09. 活断層・歴史地震 | S22. 2011 年東北地方太平洋沖地震の地震学*<br>S15. 地盤構造・地盤震動 | S21. 地震波・地震動の理論と解析 50 年 |
| | 13:00～16:45 | S23. 地震活動とその物理† | S18. 地震一般・その他<br>S08. 地震発生の物理 | S15. 地盤構造・地盤震動<br>S02. 地震計測・処理システム<br>S04. テクトニクス | S21. 地震波・地震動の理論と解析 50 年<br>S06. 地殻構造 |
| | 16:45～18:15 | ポスターセッション コアタイム（会場：１階多目的展示ホール）<br>S02. 地震計測・処理システム，S04. テクトニクス，S06. 地殻構造，S08. 地震発生の物理，<br>S09. 活断層・歴史地震，S15. 地盤構造・地盤震動，S18. 地震一般・その他，<br>S21. 地震波・地震動の理論と解析 50 年，S25. 2018 年 9 月 6 日北海道胆振地方中東部の地震 | | | |
| | 19:00～21:00 | 懇親会　（会場：郡山ビューホテルアネックス） | | | |
| 10 月 11 日（木） | 09:00～10:30 | S23. 地震活動とその物理 | S08. 地震発生の物理 | S03. 地殻変動・ＧＮＳＳ・重力 | S06. 地殻構造<br>S10. 地震に伴う諸現象 |
| | 10:30～12:00 | ポスターセッション コアタイム（会場：１階多目的展示ホール）<br>S01. 地震の理論・解析法，S03. 地殻変動・ＧＮＳＳ・重力，<br>S07. 地球及び惑星の深部構造と物性，S16. 津波，S23. 地震活動とその物理 | | | |
| | 13:15～17:00 | S08. 地震発生の物理 | S23. 地震活動とその物理 | S16. 津波 | S07. 地球及び惑星の深部構造と物性<br>S01. 地震の理論・解析法 |

＊ S22. 2011 年東北地方太平洋沖地震の地震学―７年間の成果，†発表時刻に注意（詳細はプログラムを参照）
S05 は発表なし．S10，S11，S19，S20 の各セッションは口頭発表のみ．

■大会受付　ビッグパレットふくしま
受付時間：10 月 9 日（火）8：45～17：15，10 月 10 日（水）8：30～16：45，10 月 11 日（木）8：30～15：15

■団体展示　出展団体一覧（五十音順）
株式会社 aLab／イーグローバレッジ，国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC），株式会社 勝島製作所
株式会社 近計システム，クローバテック株式会社，ジオサーフ CS 株式会社，株式会社 ジオシス
地震調査研究推進本部／文部科学省研究開発局地震・防災研究課，測位衛星技術株式会社，株式会社 東京測振
白山工業株式会社，株式会社 ホームサイスモメータ

# 10月9日（火）口頭発表

## A会場（1階コンベンションホール（A））　午前
**S14.強震動・地震災害**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

座長　野口竜也・後藤浩之・岩城麻子・友澤裕介

| | | |
|---|---|---|
| 9:30 S14-01 | 入力波動場に基づく、水辺における建物一地盤相互作用解析 | #飯田昌弘(東大地震研) |
| 9:45 S14-02 | 2011年東日本大震災に伴う人間被害の激甚性（改訂版）内陸性・海洋性地震群との対比 | #太田裕(東濃地震科研)・志垣智子(高齢研)・宮野道雄(大阪市大) |
| 10:00 S14-03 | 2016年Kaikoura地震の大加速度記録の要因 | #後藤浩之(京大防災研)・Yoshihiro Kaneko・John Young(GNS)・Hamish Avery・Len Damiano(CSI) |
| 10:15 S14-04 | 2018年島根県西部の地震の臨時余震観測および被害地域における微動観測 | #野口竜也・香川敬生・吉田昌平・山口仁(鳥取大) |
| 10:30 S14-05 | 経験的グリーン関数法を用いた2016年鳥取県中部の地震のSMGAモデル | #永井夏織・浅野公之(京大防災研)・加藤護(京大人環)・岩田知孝(京大防災研) |
| 10:45 | 休憩 | |
| 11:00 S14-06 | 不均質減衰構造を考慮した2008年岩手・宮城内陸地震の短周期レベルの推定 | #友澤裕介・加藤研一(小堀鐸二研)・野尻揮一朗(北海道電力) |
| 11:15 S14-07 | 動力学的断層モデルに基づく地表断層の最大すべりと震源近傍の強震動評価：逆断層の場合 | #加藤研一・大塚康弘・渡辺哲史(小堀鐸二研究所)・植竹富一・引間和人(東京電力HD) |
| 11:30 S14-08 | 地表地震断層近傍における長周期成分の評価を目的とした震源モデルの長大断層への適用性（その1）1999年コジャエリ地震 | #田中信也(東電設計)・久田嘉章(工学院大) |
| 11:45 S14-09 | 地表断層近傍における長周期地震動評価のための特性化震源モデルの構築 | #入倉孝次郎・倉橋奨(愛知工業大学) |
| 12:00 S14-10 | 地表に達する断層モデルによる2016年熊本地震の断層近傍を含む地震動シミュレーション | #岩城麻子・前田宜浩・森川信之・藤原広行(防災科研)・早川俊彦(三菱スペース・ソフトウエア) |

## A会場（1階コンベンションホール（A））　午後
**S19.授賞式および記念講演**

若手賞，技術開発賞(講演時間16分・質疑応答4分)
日本地震学会賞(講演時間30分・質疑応答5分)
座長　今西和俊・河原純(表彰委員会)

| | | |
|---|---|---|
| 13:15 | 会長挨拶 | |
| 13:20 | 授賞式 | |
| 13:35 S19-01* | 地震波構造探査に基づくプレート境界域の地震学的構造と地殻活動の研究 | #新井隆太(海洋研究開発機構) |
| 13:55 S19-02* | Nonlinear instantaneous velocity change at shallow depths caused by strong motion of the 2011 Tohoku-Oki earthquake | #Nori Nakata(U.Oklahoma) |
| 14:15 S19-03* | Understanding Earthquake Physics Using Multidisciplinary Approaches | #Shiqing Xu(NIED) |
| 14:35 S19-04* | 陸海統合地震津波火山観測網（MOWLAS）の構築 | #青井真・淺野陽一・功刀卓・木村武志・植平賢司・高橋成実・上田英樹・汐見勝彦・松本拓己・藤原広行・地震津波火山ネットワークセンター(防災科研地震津波火山ネットワークセンター) |
| 14:55 S19-05* | スロー地震学の創成 | #小原一成(東大地震研究所) |

## A会場（1階コンベンションホール（A））　午後
**S14.強震動・地震災害**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

座長　森川信之・久保久彦

| | | |
|---|---|---|
| 15:55 S14-11 | 機械学習を用いた地震動予測にデータセットの偏りが与える影響に関する考察 | #久保久彦・功刀卓・鈴木進吾・鈴木亘・青井真(防災科研) |
| 16:10 S14-12 | 高密度の震度計ネットワークを用いた震度分布の即時推定ー鳥取県の事例ー | #香川敬生(鳥取大学) |
| 16:25 S14-13 | 地盤増幅特性のリアルタイム補正：周波数依存性をもつ位相と震動継続時間の再現・予測 | #干場充之(気象研) |
| 16:40 S14-14 | 超高速データ同化のためのGreen関数を併用した長周期地震動の即時予測実験 | #大峡充己・古村孝志(東大地震研)・前田拓人(弘前大理工) |
| 16:55 S14-15 | 地震動予測地図の改良に向けた検討 | #森川信之・藤原広行(防災科研)・宮腰淳一(大崎総研) |

## B会場（1階コンベンションホール（B））　午前
**S13.地震予知・予測，S24.大阪府北部の地震**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）
座長　田中昌之・井元政二郎・鎌谷紀子・干場充之

| | | |
|---|---|---|
| 9:30 S13-01 | 近年の近畿地方の地殻活動異常- 2018年大阪府北部の地震の意味 - | #佃為成(元東大地震研) |
| 9:45 S13-02 | 1854年安政南海地震前の井戸水減少及び海面変動について | #梅田康弘・板場智史(産総研活断層火) |
| 10:00 S13-03 | 「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」に関する思考実験 | #鎌谷紀子(東大地震研) |
| 10:15 S13-04 | 南海トラフ地震直前予知と事前避難の関係 | #中村不二夫(南海地震予知連) |
| 10:30 S13-05 | 日本周辺における鯨類のマス・ストランディングと地震との関係に関する考察 | #織原義明(東海大海洋研)・鴨川仁(東京学芸大物理)・野田洋一(有限会社テラテクニカ)・長尾年恭(東海大海洋研) |
| 10:45 | 休憩 | |
| 11:00 S13-06 | Next one-day aftershock forecasting generated by ETAS model and R-J model | #Zhang Shengfeng(ISM, Tokyo; IGPCEA, Beijing), Zhuang Jiancang(ISM, Tokyo), Jiang Changsheng(IGPCEA, Beijing) |
| 11:15 S13-07 | 地震発生頻度に基づく地震活動モデルの適合度について | #井元政二郎・藤原広行(防災科研) |
| 11:30 S13-08 | 高詳細3次元不均質構造モデルでの地殻活動モニタリング・推移予測のためのデータ解析の高度化 | #堀高峰(JAMSTEC)・市村強(ERI)・高橋成実(NIED・JAMSTEC)・矢来博司(地理院) |
| 11:45 S24-01* | 大阪北部の地震と周辺の地震発生場 | #飯尾能久(京大防災研) |
| 12:05 S24-02 | Detailed seismicity and two-fault system of the event at northern Osaka on June 18, 2018 | #Tomoko Elizabeth Yano, Takeshi Kimura, Sachiko Tanaka, Tetsuya Takeda, Shin Aoi(NIED) |

## B会場（1階コンベンションホール（B））　午後
**S24.大阪府北部の地震**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）
座長　干場充之・宮澤理稔

| | | |
|---|---|---|
| 15:55 S24-03* | 学校防災の課題ー最近の災害経験を踏まえてー | #村山良之(山形大学大学院教育実践研究科) |
| 16:15 S24-04 | 大阪堆積盆地の震源断層モデル | #石山達也・佐藤比呂志(東大地震研)・阿部　進(石油資源開発株式会社) |
| 16:30 S24-05 | 平成30年大阪府北部地震による静的応力変化と地震活動応答 | #遠田晋次(東北大災害研) |
| 16:45 S24-06 | ALOS-2干渉SARによる大阪府北部の地震に伴って発生した有馬-高槻断層帯に沿う地表変位の検出 | #藤原智・林京之介・森下遊・矢来博司・中埜貴元・宇根寛(国土地理院) |
| 17:00 S24-07 | 大阪府北部の地震による京都盆地の文化財被害 | 大邑潤三(京大防災研)・#加納靖之(東大地震研) |

## C会場（3階中会議室）　午前
**S17.地震教育・地震学史，S12.地球化学・地下水，S22.2011年東北地方太平洋沖地震の地震学—7年間の成果**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）
座長　岡本拓夫・岡田知己・日野亮太

| | | |
|---|---|---|
| 9:30 S17-01 | 「地震の教室（親子向け）」で用いている手作り地震計 | #根本泰雄(桜美林大自然科学)・赤澤隆士(地盤研)・荒木正之(aLab)・林能成(関西大社会安全)・福岡龍史(エフエム・プランニング)・後藤浩之(京大防災研)・酒井慎一(東大地震研) |
| 9:45 S17-02 | Photovoice法を応用した防災教育一被写体から撮影者へー | #日向惠里名・薄井慧・小幡宣友・大木聖子(慶應) |
| 10:00 S17-03 | 中学生による「防災小説」が自他に与える効果 | #川崎彩奈・所里紗子・永松冬青・大木聖子(慶應義塾大学) |
| 10:15 S17-04 | 防災教員研修へのナラティヴ・アプローチの導入とその可能性 | #パリーク亜美・大木聖子・山口航平・鳥羽美礼(慶應義塾大学) |
| 10:30 S12-01 | 断層滑り時における炭質物熱熟成反応の系統的解析 | #市場達矢・金木俊也・廣野哲朗(大阪大)・大橋聖和(山口大) |
| 10:45 | 休憩 | |
| 11:00 S22-01 | 深海調査による日本海溝プレート境界断層浅部の特徴 | #日野亮太(東北大理)・小平秀一・金松敏也(JAMSTEC)・篠原雅尚(東大震研)・伊藤喜宏(京大防災研) |
| 11:15 S22-02 | 海域探査から見た2011年東北地方太平洋沖地震 | #小平秀一・中村恭之・藤江剛・富士原敏也・尾鼻浩一郎・山本揚二朗・野徹雄・海宝由佳・佐藤壮・三浦誠一(海洋研究開発機構) |
| 11:30 S22-03 | 稠密地震観測で見た，東北沖地震後の内陸誘発地震 | #岡田知己・中山貴史・平原聡・堀修一郎・佐藤俊也・松澤暢(東北大・理)・2011年東北地方太平洋沖地震合同余震観測グループ |
| 11:45 S22-04 | 2011年東北沖巨大地震：上と下の両プレート内の不均質構造の影響 | #趙大鵬・Liu Xin(東北大学) |
| 12:00 S22-05* | 海底堆積物の巨大地震記録特性ー日本海溝の巨大地震発生におけるスーパーサイクルが記録された条件ー | #宇佐見 和子(東大大海研，産総研地質情報)・池原 研(産総研地質情報)・金松 敏也(海洋研究開発機構)・マクヒュー セシリア(Queens College, C.U.N.Y.) |
| 16:10 S22-07 | 2011年東北地方太平洋沖地震の粘性緩和による変動と粘弾性不均質構造の検討 | #水藤尚(国土地理院) |
| 16:25 S22-08 | 2011年東北沖地震の余効変動における不均質レオロジーの影響 | #伊藤嘉秋・三浦　哲・武藤潤・太田雄策(東北大・院理)・Moore James(南洋理工大学)・飯沼卓史(JAMSTEC) |
| 16:40 S22-09 | 2011年東北沖地震前の広域地震活動変動 | #熊澤貴雄(東大地震研)・尾形良彦(東大地震研、統計数理研究所)・遠田晋次(東北大) |
| 16:55 S22-10* | 絶対応力場モデリングによる2011年東北沖地震前及び地震後における前弧上盤内応力場の再現 | #篠島僚平・芝崎文一郎(建築研)・岩森光(JAMSTEC, 東大地震研, 東工大理)・吉田圭佑(東北大セ)・中井仁彦(建築研) |

## C会場（3階中会議室）　午後
**S22.2011年東北地方太平洋沖地震の地震学—7年間の成果**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）
座長　熊澤貴雄・水藤尚

## D会場（4階プレゼンテーションルーム）　午前
**S11.岩石実験・地殻応力，S20.伝える・伝わる地震学**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）
座長　小村健太朗・平松良浩・根本泰雄

| | | |
|---|---|---|
| 9:30 S11-01 | ボアホール応力計による間隙弾性定数の評価 | #佐野修(東濃地震研)・大久保慎人(高知大理)・鶴岡弘(東大地震研)・愛知正温・徳永朋祥(東大新領域) |
| 9:45 S11-02 | クラックを含む岩石の弾性的性質：弾性波速度測定によるクラック形状の推定 | #増田幸治(産総研) |
| 10:00 S11-03 | 地殻応力測定法としてのコア変形法(DCDA法)の足尾コアへの適用 | #小村健太朗(防災科研)・林為人(京都大)・伊藤高敏(東北大)・船戸明雄(深田研) |
| 10:15 S20-00 | 趣旨説明 | |
| 10:17 S20-01* | 科学博物館が自然災害を伝える | #佐藤公(磐梯山噴火記念館) |
| 10:37 | 休憩(※8分) | |
| 10:45 S20-02* | 熊本地震と地震痕跡の保護 | #柴田伊廣(文化庁)・中川和之(時事通信社) |
| 11:05 S20-03* | 和歌山大学での地域防災における地震啓発の課題 | #此松昌彦(和歌山大災害科学教育研究セ) |
| 11:25 S20-04* | モバイル端末アプリによるインタラクティブな可視化 | #江本賢太郎(東北大理) |
| 11:45 S20-05* | 地学における地震教材の活用と実践 | #小野寺弘幸(盛岡市立高校) |
| 12:05 S20-06 | 「防災科研 地震だねっと!」の開設 | #松原誠(防災科研)・竹之内耕(糸魚川ジオパーク)・西澤あずさ・青井真(防災科研) |
| 15:55 S20-07 | 構造湖の環境維持における活断層の役割を明らかにし住民に伝える | #小泉尚嗣(滋賀県大環境)・岸和央(立正大地球環境) |
| 16:10 S20-08 | 震災石碑のウラを読むー歴史地震災害にリアリティをー | #武村雅之(名古屋大学) |
| 16:25 S20-09 | 京大阿武山観測所におけるサポーター活動について | #溝口宏一(京大阿武山観測所) |
| 16:40 S20-10 | こころで備える地震学：考える材料を得て恐怖を軽減 | #光井能麻(名大環境、中京大国際教) |
| 16:55 S20 | 総合討論 | |

＊は招待講演

# ポスター　10月9日（火）17:15～18:45　ポスター会場（1階多目的展示ホール（A））
# S12, S13, S14, S17, S22, S24

## S12.地球化学・地下水

| | | |
|---|---|---|
| S12-P01 | 神奈川県大井観測井における地震に伴う水位上昇について | #李楊・鵜川元雄(日大)・板寺一洋・原田昌武(温地研) |

## S13.地震予知・予測

| | | |
|---|---|---|
| S13-P01 | 中規模の繰り返し相似地震による長期的発生確率予測の成績 | #田中昌之(気象研) |
| S13-P02 | 静岡県西部地域の長期的地下水温変化 | #上久保廣信・阿部郁男(常葉大学大学院環境防災研究科) |
| S13-P03 | モーメント保存則から推定される日本海溝～千島・カムチャッカ海溝沿いのプレート境界型地震の最大規模（その3） | #弘瀬冬樹(気象研)・前田憲二(気象庁)・吉田康宏(気象大) |

## S14.強震動・地震災害

| | | |
|---|---|---|
| S14-P01 | 地震動シミュレーションデータのクラスタリング（2） | #前田宜浩・藤原広行(防災科研)・早川俊彦・赤木翔(三菱スペース・ソフトウエア) |
| S14-P02 | 機械学習を用いた広帯域地震動合成の試み | #岡崎智久(理研)・八谷大岳(和歌山大・理研)・前田宜浩・岩城麻子・藤原広行(防災科研)・上田修功(理研) |
| S14-P03 | 深層学習を用いた周辺の観測波形に基づく震度分布推定の試み | #栗間淳(京大工)・後藤浩之・澤田純男(京大防災研) |
| S14-P04 | 4成分加速度計を用いた強震記録の信頼性検証 | #功刀卓・鈴木亘・久保久彦・青井真・中村洋光・藤原広行(防災科研) |
| S14-P05 | SI値の計算について | #功刀卓・中村洋光(防災科研) |
| S14-P06 | 応答スペクトルの確率論的地震動ハザード評価 | #宮腰淳一・森井雄史(大崎総研)・森川信之・藤原広行(防災科研) |
| S14-P07 | 全国地震動予測地図2018年版 | #島津奈緒未・林豊(文科省)・藤原広行・森川信之(防災科研) |
| S14-P08 | 上下動の地震動予測式の検討 | #森川信之・藤原広行(防災科研) |
| S14-P09 | 西南日本で観測された計測震度の内帯側と外帯側の傾向の違い | #田中裕人(構造計画研)・松浦律子・古村美津子(地震予知振興会)・高浜勉(構造計画研) |
| S14-P10 | 局所的な距離減衰のリアルタイム推定による地震動即時予測 | #小寺祐貴(気象研) |
| S14-P11 | 東北日本太平洋沖の震源の浅い地震による地震波の減衰の特徴 | #小笠原勇・筧楽麿(神戸大理) |
| S14-P12 | 長周期地震動振幅の短距離間空間較差の発生要因の理解と簡易的予測に向けた数値実験による予備的検討（その2） | #畑山健(消防研) |
| S14-P13 | 地震発生層以浅のための摩擦構成則 | #加瀬祐子(産総研)・入江紀嘉・壇一男・鳥田晴彦((株)大崎総合研究所) |
| S14-P14 | 地表地震断層近傍における長周期成分の評価を目的とした震源モデルの長大断層への適用性（その2）2008年四川地震 | #久田嘉章(工学院大)・田中信也(東電設計) |
| S14-P15 | 2010年Darfield地震の永久変位を含む長周期（2秒以上）地震動評価のための特性化震源モデル | #松元康広(構造計画研)・入倉孝次郎(愛知工大)・高浜勉(構造計画研) |
| S14-P16 | 平成28年熊本地震前震における単発のパルス波の生成原因分析 | #豊増明希(京大工)・後藤浩之・澤田純男(京大防災研) |
| S14-P17 | 2016年熊本地震の震源近傍記録再現のための特性化震源モデル | #貴堂峻至・永野正行(東京理科大学)・引間和人(東京電力HD) |
| S14-P18 | 強震波形による2016年熊本地震本震の震源過程再解析 | #引間和人(東京電力HD)・田中信也(東電設計) |
| S14-P19 | 熊本地震における地表地震断層近傍の建物倒壊分布 | #中村洋光・藤原広行・門馬直一・内藤昌平(防災科研) |
| S14-P20 | 強震動シミュレーションによる1995年兵庫県南部地震の「震災の帯」の成因の検討 | #村上謙・纐纈一起(東大地震研) |
| S14-P21 | 2008年四川大地震（汶川地震）の震源過程解析 | #高野和俊・纐纈一起(東大地震研) |
| S14-P22 | 2003年7月26日宮城県北部の地震（Mw 6.1）の震源モデルと強震動シミュレーション | #染井一寛・宮腰研・郭雨佳(地盤研) |
| S14-P23 | 経験的グリーン関数法に基づく2018年島根県西部の地震の震源断層のモデル化 | #吉田昌平・香川敬生・野口竜也(鳥取大院工) |
| S14-P24 | 震源至近距離観測された鉱山内データを用いたオークニーM5.5地震断層すべり解析 | #安富達就・James Mori(京都大学)・小笠原宏(立命館大学) |
| S14-P25 | 永久変位データに基づく断層面積のスケーリング則 | #佐藤智美(清水建設) |
| S14-P26 | 高周波数帯域におけるスペクトル低減特性の適切な表現方法について～fmaxフィルターおよびパラメータ$\kappa$の比較～ | #鶴来雅人・田中礼司(地域 地盤 環境研究所)・香川敬生(鳥取大学)・入倉孝次郎(愛知工業大学) |
| S14-P27 | 波形インバージョン解析による震源断層モデルのトリミング方法に関する考察 | #宮腰研・染井一寛・郭雨佳(地盤研) |
| S14-P28 | 経験的地震動特性を用いた広帯域地震動合成手法の面展開 | #岩城麻子・藤原広行(防災科研) |
| S14-P29 | 近年の液状化被害を踏まえた液状化発生率の検討 | #先名重樹・小澤京子(防災科研)・杉本純也・山田和樹(損保料率機構) |
| S14-P30 | 山形県中山町と寒河江市の震動特性（その2） | #長谷見晶子・本田文成(東北大理)・野田恭介(地質計測(株))・鈴木鷹也・鴇田丈洋(山形大理)・先名重樹(防災科研) |
| S14-P31 | DONETによる海底強震動観測 | #中村武史・高橋成実(防災科研)・鈴木健介(海洋機構) |
| S14-P32 | 準リアルタイム連続データを利用した地震観測情報伝達システムの構築 | #赤澤隆士(地盤研究財団) |

## S17.地震教育・地震学史

| | | |
|---|---|---|
| S17-P01 | 高校生と連携した地震防災への取組み | #岡本拓夫(福井高専) |
| S17-P02 | 学校における当事者意識の醸成をねらった地震減災教育の実践とその効果について | #城大・伊東明彦(宇都宮大教育) |

## S22.2011年東北地方太平洋沖地震の地震学―7年間の成果

| | | |
|---|---|---|
| S22-P01 | 2011年東北沖地震後の粘弾性緩和と余効すべりによる2016年茨城県北部地震に対する応力載荷 | #橋間昭徳・佐藤比呂志(東大地震研)・Andrew M. Freed(パーデュー大学)・Thorsten W. Becker(テキサス大学) |
| S22-P02 | 非線形粘弾性を考慮した2011年東北地方太平洋沖地震の初期余効変動のモデル化の試み | #飯沼卓史・縣亮一郎・堀高峰(JAMSTEC)・太田雄策・日野亮太(東北大理) |
| S22-P03 | 2011年東北地方太平洋沖地震前後の海底地形変動分布 | #富士原敏也・小平秀一・藤江剛・海宝由佳・金松敏也・笠谷貴史・中村恭之・野徹雄・佐藤壮・高橋努(JAMSTEC)・高橋成実(NIED/JAMSTEC)・金田義行(Kagawa U./JAMSTEC)・A.K. Bachmann・C. dos Santos Ferreira・G. Wefer(MARUM)・M. Strasser(U. Innsbruck)・T. Sun(Penn. State U.) |
| S22-P04 | 非定常地殻変動の把握を目指したA－0－A方式による海底水圧計ドリフト成分補正の試み | #西間木佑衣・太田雄策・日野亮太・鈴木秀市・佐藤真樹子(東北大理)・梶川宏明・小畠時彦(産総研) |
| S22-P05 | 地震活動度を用いた東北地方太平洋沖地震前後の福島県沖および房総沖での応力変化の推定 | #津村紀子(千葉大院・理)・石橋広崇(千葉大理，現京葉銀行)・高橋豪(出光興産(株)) |
| S22-P06 | OBSアレイで観測された日本海溝での誘発低周波微動 | #大柳修慧(京大院理)・太田和晃・伊藤喜宏(京大防災研)・日野亮太・太田雄策・東龍介(東北大理)・篠原雅尚・望月公廣(東大地震研)・佐藤利典(千葉大理)・村井芳夫(北大理) |
| S22-P07 | 日本海溝における地震時浅部滑りと地下構造 | #中村恭之・富士原敏也・小平秀一・三浦誠一・尾鼻浩一郎(JAMSTEC) |
| S22-P08 | 日本海溝アウラ―ライズ域におけるプチスポット周辺の地殻構造イメージング | #大平茜・小平秀一(横浜国大/JAMSTEC)・藤江剛・野徹雄・中村恭之・三浦誠一(JAMSTEC) |

## S24.大阪府北部の地震

| | | |
|---|---|---|
| S24-P01 | 大阪府北部の地震活動の概要 | #宮岡一樹・武田清史・尾崎友亮・青木元(気象庁) |
| S24-P02 | 2018年6月18日の大阪府北部を震源とする地震に対するリアルタイム余震予測 | #近江崇宏(東大生産研)・尾形良彦(統数研)・汐見勝彦(防災科研)・ Bogdan Enescu(京都大)・澤崎郁(防災科研)・合原一幸(東大生産研) |
| S24-P03 | GNSSデータから見た大阪府北部の地震（M6.1） | #西村卓也(京大防災研) |
| S24-P04 | 新たに構築したGNSS観測網による大阪北部地震の 電離圏解析 | #梅野健・後藤振一郎・土屋俊夫・引間泰成・五十嵐喜良(京大情報, Kyoto Univ.)・森俊洋・湯井能明・江口忠博・大野敦司・松田守弘・谷岡弘規・福永尊光(K-opti.com) |
| S24-P05 | 2018年6月18日大阪府北部地震のリアルタイム震度および最大震度分布図 | #神定健二・高橋功・篠原芳紀(高見沢サイバネティックス) |
| S24-P06 | 2018年6月18日大阪府北部の地震(MJ6.1)における基盤地震動の距離減衰特性 | #池浦友則(鹿島技研) |
| S24-P07 | Comparison of ground motions of north Osaka earthquake and earthquakes in southwest Japan | #Yadab P. Dhakal, Takashi Kunugi, Wataru Suzuki, Takeshi Kimura, Shin Aoi(NIED) |
| S24-P08 | 墓石転倒率から見た2018年大阪府北部の地震 における地震動分布の特徴 | #川辺智士・中家愛梨・林能成(関西大社会安全) |
| S24-P09 | 鳥取県境港市で観測される長周期地震動階級－2018年大阪府北部の地震など－ | 星山賢太郎・#香川敬生・野口竜也・吉田昌平(鳥取大学) |
| S24-P10 | 関西地震観測協議会の強震観測網が捉えた2018年6月18日大阪府北部の地震 | #赤澤隆士(地盤研) |
| S24-P11 | 衝撃的で強力な鉛直波動による特徴的な損壊事例（熊本地震と大阪府 | #前原　博(地球システム財団) |
| S24-P12 | 疑似点震源モデルを用いた2018年6月18日大阪府北部の地震の強震動シミュレーション | #長坂陽介 ・野津厚(港空研 ) |
| S24-P13 | 大阪府北部地震のシミュレーション解析による大阪平野における浅部表層地盤の影響 | #片岡卓也・永野正行(東京理科大学) |
| S24-P14 | 京都盆地南西部淀川三川合流部での反射法地震探査データの再解析 | #稲崎 富士(土木研) |
| S24-P15 | ６月１８日大阪府北部の地震の高密度余震観測 | 飯尾能久・#片尾浩・冨阪和秀・澁谷拓郎・宮崎真大・長岡愛里・中川潤・澤田麻沙代・阪口光・大柳修慧・原将太・阿武山サポーター有志(京大防災研)・松本聡・松島健・神園めぐみ(九大理)・酒井慎一・増田正孝・田中伸一(東大震研)・林能成(関西大学社会安全学部) |
| S24-P16 | 大阪北部の微動観測調査と臨時地震観測 | #津野靖士(鉄道総研)・山中浩明・地元孝輔(東工大)・是永将宏(鉄道総研) |
| S24-P17 | 2018年大阪府北部の地震における茨木市周辺の余震観測 | #後藤浩之(京大防災研)・平井俊之・江口拓生(ニュージェック)・中本幹大・Anirban Chakraborty・山下大輝(京大防災研) |
| S24-P18 | 2018年6月18日の大阪府北部の地震の余震観測 | #松島信一・伊藤恵理・長嶋史明(京大防災研)・門田竜太郎・八木尊慈・佐藤啓太・王自謙(京大院工) |
| S24-P19‡ | 茨木市中心市街地における大阪府北部の地震の余震観測 | #山田伸之（高知大理工） |
| S24-P20‡ | 2018年大阪府北部を震源とする地震にともなう臨時余震観測 | #山田浩二・土田琴世・鳥家充裕((株)阪神コンサルタンツ)・上林宏敏（京大複合研）・赤澤隆士（地盤研） |
| S24-P21‡ | Study of the foreshocks and aftershocks of 2018 M6.1 Osaka earthquake | #Hong Peng, Bogdan Enescu, Aiming Lin (Kyoto Univ.), Katsuhiko Shiomi (NIED) |
| S24-P22‡ | Two intersecting faults rupturing in 18 June 2018 M 6.1 Osaka,Japan earthquake | #Yuqiang Li, Dun Wang,Shenghui Xu (China Univ of Geosciences), Lihua Fang (CEA) |
| S24-P23‡ | 2018年6月18日大阪府北部の地震に関連した斜面災害の調査 | #土井一生・釜井俊孝・王功輝（京大防災研） |
| S24-P24‡ | 大阪府北部の地震と既往の距離減衰式の比較 | #西村利光・宮腰研 |
| S24-P25‡ | 2018年大阪府北部の地震の距離減衰特性と短周期レベル | #佐藤智美（清水建設） |
| S24-P26‡ | 地表・物理探査データに基づく2018年大阪府北部の地震の震源域周辺の活構造の再検討 | #堤浩之（同志社大学理工学部）・飯尾能久（京都大学防災研究所） |
| S24-P27‡ | 空中写真判読に基づいた有馬ー高槻断層帯の西部地域の変動地形分析 | #金 幸隆（大阪市立大学） |
| S24-P28‡ | 微小熱ゆらぎ異常と大地震発生の時間（２４年間）空間（北海道から九州）分布 ーー大阪北部地震を含むーー | #橋本哲（阪府大名誉教授） |

‡は予稿無し

# 10月10日（水）口頭発表

## A会場（1階コンベンションホール（A））　午前
**S24.大阪府北部の地震，S23.地震活動とその物理**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）
座長　川辺秀憲・松島信一・波多野恭弘・堀高峰

| | | |
|---|---|---|
| 9:00 S24-08 | 2018年Mw5.5大阪府北部の地震の動的破壊シミュレーション：逆断層から横ずれ断層への破壊乗り移り | #安藤亮輔(東大理)・今西和俊・内出崇彦(産総研)・別所明彦・藤亜希子・金子りさ・井出哲(東大理) |
| 9:15 S24-09 | 強震記録による2018年6月18日大阪府北部の地震の震源過程 | #浅野公之・岩田知孝(京大防災研)・Miroslav Hallo(カレル大学) |
| 9:30 S24-10 | 2018年6月18日大阪府北部の地震（MJ6.1）の震源断層の破壊過程の推定－経験的グリーン関数による波形インバージョン | #野津厚・長坂陽介(港空研) |
| 9:45 S24-11 | 2018年大阪府北部の地震（Mw5.5）の強震動震源モデル | #倉橋奨・入倉孝次郎(愛知工大) |
| 10:00 S24-12 | 経験的グリーン関数法を用いた2018年大阪府北部の地震（Mw 5.5）の強震動生成域の推定 | #染井一寛・宮腰研・吉田邦一・赤澤隆士・西村利光・郭雨佳(地盤研) |
| 10:15 | 休憩(※10分) | |
| 10:25 S24-13* | 2018年大阪府北部の地震の強震動とライフライン等への影響 | #後藤浩之(京大防災研) |
| 10:45 S24-14 | 2018年6月18日大阪府北部の地震(Mj6.1)による箕面市とその付近での強震動記録 | #上林宏敏(京大複合研) |
| 11:00 S24-15 | 2018年6月18日大阪府北部の地震時の強震動シミュレーション | 関口春子・#岩田知孝・浅野公之(京大防災研) |
| 11:15 S24-16 | 2018年6月18日大阪府北部の地震の差分法を用いた地震動シミュレーション | #川辺秀憲・片山雄貴(大阪大工) |
| 11:30 S23-01 | 静穏化による地震の長期予測の試行～学習と検証 | #勝俣啓(北大)・中谷正生(東大地震研) |
| 11:45 S23-02 | 北海道東部沖合の地震活動静穏化の現状 | #松浦律子・岩佐幸治(地震予知総合研究振興会) |

## B会場（1階コンベンションホール（B））　午前
**S09.活断層・歴史地震**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

座長　平井敬・加納靖之・石村大輔・石山達也

| | | |
|---|---|---|
| 9:00 S09-01 | 1605年慶長九年十二月大津波における阿波宍喰浦の地震・津波記録について | #石橋克彦(神戸大名誉教授) |
| 9:15 S09-02 | 自治体史から採られた地震史料の活用（1）：1407年と1408年の地震 | #加納靖之(東大地震研)・大邑潤三(京大防災研)・山村紀香(京大理)・濱野未来(立命館大文) |
| 9:30 S09-03 | 1586年天正地震の震源断層推定：液状化可能性と地盤条件による考察から | #山村紀香(京大理)・加納靖之(東大地震研) |
| 9:45 S09-04 | 1707年宝永地震と富士山宝永噴火に関する一史料(4)-宝永噴火に先行した地震活動に関する「大地震富士山焼出之事」の記述の検証- | #服部健太郎・中西一郎(京都大理) |
| 10:00 S09-05 | 越後平野で繰り返された地震 | #河内一男(新潟薬科大学) |
| 10:15 | 休憩 | |
| 10:30 S09-06 | 富士川河口断層帯における反射法地震探査 | #石山達也・加藤直子・佐藤比呂志(東大地震研)・小池太郎・野田克也(ジオシス) |
| 10:45 S09-07 | 石狩低地東縁断層帯南部の海域部における活動性 | #内田康人・仁科健二(道総研地質研)・大上隆史(産総研)・阿部信太郎(地震予知振興会)・八木雅俊(産総研)・向山建二郎・坂本順哉(川崎地質) |
| 11:00 S09-08 | 糸魚川－静岡構造線断層帯松本盆地東縁断層の北部におけるS波浅層反射法地震探査 | #木村治夫(電力中央研究所)・近藤久雄(産総研活断層)・小鹿浩太・川崎悠介・平倉瑶子・黒澤英樹(応用地質(株)) |
| 11:15 S09-09 | 活断層による連動型地震の発生確率の試算－糸魚川-静岡構造線断層帯・北部区間の事例－ | #近藤久雄(産総研) |
| 11:30 S09-10 | 日本の活断層カタログに対するBPTモデルによるベイズ型予測と数値実験に基づく予測性能 | #野村俊一・尾形良彦(統数研) |
| 11:45 S09-11 | 宇宙線ミューオンによる跡津川断層の破砕帯の密度構造測定 | #池田大輔・武多昭道(東大地震研)・山崎勝也(神奈川大工)・須田 祐介(ドイツMPI)・小村健太朗(防災科研) |

## C会場（3階中会議室）　午前
**S22.2011年東北地方太平洋沖地震の地震学―7年間の成果，S15.地盤構造・地盤震動**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

座長　太田和晃・篠原雅尚・東龍介・長郁夫

| | | |
|---|---|---|
| 9:00 S22-11 | 自己浮上式海底地震計を用いた2011年東北沖地震震源域におけるモニタリング観測 | #篠原雅尚・山田知朗・望月公廣・中東和夫1・町田祐弥2・真保敬2・悪原岳・仲谷幸浩3・塩原肇(東大地震研)・村井芳夫(北大)・日野亮太・伊藤喜宏4(東北大)・佐藤利典(千葉大)・植平賢司5(九州大)・八木原寛(鹿児島大)・尾鼻浩一郎・小平秀一(JAMSTEC)<br>現所属：1東京海洋大、2JAMSTEC、3鹿児島大、4京大防災研、5防災科研 |
| 9:15 S22-12 | 海底地震観測による日本海溝海溝軸周辺からアウターライズ域の地震活動 | #尾鼻浩一郎・藤江剛・山本揚二朗・高橋努・中村恭之・海宝由佳・三浦誠一・石原靖・小平秀一(海洋研究開発機構)・篠原雅尚(東大地震研) |
| 9:30 S22-13 | 2011年東北地方太平洋沖地震前後の震源域における応力場の時空間分布 | #西森智也・日野亮太(東北大) |
| 9:45 S22-14 | 日本海溝の微動活動 | #太田和晃・伊藤喜宏・片上智史・大柳修慧(京大防災研)・日野亮太・太田雄策・東龍介(東北大理)・篠原雅尚・望月公廣(東大地震研)・佐藤利典(千葉大理)・村井芳夫(北大理) |
| 10:00 S22-15 | 短周期OBS記録を用いたVLFE類似イベント検出の試み | #高橋秀暢・日野亮太・太田雄策・内田直希・鈴木秀市(東北大理)・篠原雅尚(東大地震研)・松澤孝紀(防災科研) |
| 10:15 | 休憩 | |
| 10:30 S22-16 | 宮城県沖における低周波微動発生域の推定（2008～2015年） | #片上智史(京大院理)・伊藤喜宏・太田和晃(京大防災研)・日野亮太・鈴木秀市(東北大理)・篠原雅尚(東大地震研) |
| 10:45 S22-17 | 東北日本弧沈み込み帯へのインプットとしての太平洋プレートの不均質性 | #藤江剛・小平秀一・三浦誠一(JAMSTEC)・大平 茜(横浜国大 ) |
| 11:00 S22-18 | 宮城県沖プレート境界浅部域の反射強度分布 | #東龍介・日野亮太(東北大理)・望月公廣(東大地震研)・村井芳夫(北大理)・八木原寛(鹿児島大理)・佐藤利典(千葉大理)・篠原雅尚(東大地震研) |
| 11:15 S15-01 | Application of CCA method for long period microtremor with scalene triangle arrays in Kathmandu Valley, Nepal | #T. Yokoi, T. Hayashida(IISEE, Japan), M. Bhattarai, T. Pokharel(DMG, Nepal), S. Dhakal(U. of Canterbury, New Zealand), S. Shrestha, C. Timsina, D. Nepali(DMG, Nepal) |
| 11:30 S15-02 | ヤンゴン市において再推定した地盤構造を利用した強震動予測 | #松下隼人(京大工)・松島信一・川瀬博(京大防災研)・Tun Naing(ヤンゴン工大)・Myo Thant(Monywa大)・Phyoe Swe Aung(京大工) |
| 11:45 S15-03 | 2016年熊本地震被災地益城町安永地区での浅部物理探査および建物被害調査 | #稲崎富士・小河原敬徳・木佐貫寛 ・尾西恭亮(土木研)・北高穂(TK海陸) |

## D会場（4階プレゼンテーションルーム）　午前
**S21.地震波・地震動の理論と解析50年**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）
座長　纐纈 一起・藤原広行・古村孝志・吉澤和範

| | | |
|---|---|---|
| 9:00 S21-01* | 地震波動場の理解 ―私の展望 | #ブライアン ケネット(オーストラリア国立大学) |
| 9:20 S21-02 | 理論地震学はどこへ行くのか？ | #川崎一朗(東濃地科研) |
| 9:35 S21-03 | リソスフェア・アセノスフェアのランダム微細不均質性とみかけのS波鉛直異方性 | #吉澤和範(北大理) |
| 9:50 S21-04 | 非等方輻射震源の地震波振幅のばらつきの方位角変化 ―地震動シミュレーションによる評価― | #吉本和生(横浜市大)・武村俊介(防災科研) |
| 10:05 S21-05（10分講演） | 強震観測データ同化に基づく長周期地震動の即時予測 | #古村孝志(東大地震研)・前田拓人(弘前大理工)・大峡充己(東大地震研) |
| 10:15 | 休憩 | |
| 10:30 S21-06* | Data-driven時代の地震学における1本の波形記録の役割 | #蓬田清(北大理)・木村恒久(シュルンベルジェ) |
| 10:50 S21-07 | レシーバ関数解析と地震波走時トモグラフィによる紀伊半島下の3次元地震波速度構造 | #澁谷拓郎(京大防災研)・平原和朗(理研) |
| 11:05 S21-08 | MeSO-net観測波形を用いた地震波動場の推定 | #椎名高裕(東大地震研)・前田拓人(弘前大理工)・加納将行(東北大理)・加藤愛太郎・平田直(東大地震研) |
| 11:20 S21-09 | Inception Moduleを用いた地震波形自動検測 | #内出崇彦(産総研) |
| 11:35 S21-10 | 空間微分項を用いたベクトル地震波動場のP-SV/SH分離：数値シミュレーションへの適用 | #前田拓人(弘前大理工) |
| 11:50 S21-11（10分講演） | 地震波・地震動の解析における最小二乗法 | #纐纈一起(東大地震研) |

## A会場（1階コンベンションホール（A））　午後
**S23.地震活動とその物理**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）
座長　北佐枝子・加藤愛太郎・平野史朗・野田博之

| | | |
|---|---|---|
| 13:00 S23-03 | 2013年2月25日栃木県北部の地震(Mw5.8)の前震活動 | #加藤愛太郎(東大地震研) |
| 13:15 S23-04 | 2017 年に鹿児島湾で発生した M 5.3 の地震の前駆的活動及び余震活動にみられる震源の migration とその原因 | #松本圭晶・吉田圭佑・松澤暢・長谷川昭(東北大予知セ) |
| 13:30 S23-05 | 0.1満点地震観測でみた鳥取県西部地震震源域の余震活動による非弾性ひずみ | #松本聡(九大理)・飯尾能久(京大防災研)・酒井慎一・加藤愛太郎(東大地震研)・0.1満点地震観測グループ・鳥取県西部満点地震観測グループ |
| 13:45 S23-06 | 剪断歪みエネルギーと地震活動 | #齊藤竜彦・野田朱美(防災科研)・吉田圭佑(東北大)・田中佐千子(防災科研) |
| 14:00 S23-07 | 2014年7月の胆振地震を含む群発地震の震源決定 | #パチェコカリム・青山裕(北大,ISV) |
| 14:15 S23-08 | 誘発地震b値のせん断応力依存性 | #椋平祐輔・伊藤高敏(東北大流体研)・Michael C. Fehler(ERL, MIT)・浅沼宏(産総研)・Markus O. H_ring(GEL) |
| 14:30 S23-09 | 紀伊半島下フィリピン海スラブ内におけるスロースリップ発生前後の地震活動度、応力場、およびb値の変化 | #北佐枝子(建研)・Heidi Houston(USC)・田中佐千子・浅野陽一(防災科研)・澁谷拓郎(京大防災研)・須田直樹(広大) |
| 14:45 | 休憩(※10分) | |
| 14:55 S23-10* | 統計地震学と地震活動の物理 | #尾形良彦(東京大学地震研究所、統計数理研究所) |
| 15:15 S23-11 | 2011年東北沖地震後の流体圧変化により誘発された群発地震活動の発生シミュレーション | #吉田圭佑(東北大)・野田博之(京都大)・芝崎文一郎(建築研) |
| 15:30 S23-12 | 海溝型巨大地震サイクルに伴う内陸断層のクーロン応力変化 | #水戸川司(京大理)・西村卓也(京大防災研) |
| 15:45 S23-13 | 内陸地震の活動期と海溝型巨大地震の周期のスケーリング | #野田博之(京大防災研) |

## B会場（1階コンベンションホール（B））　午後
**S18.地震一般・その他，S08.地震発生の物理**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

座長　室谷智子・福山英一・小笠原宏・矢部康男

| | | |
|---|---|---|
| 13:00 S18-01 | ハワイ島の噴火と地震活動 | #石川有三(産総研) |
| 13:15 S18-02 | 2016年熊本地震を用いた地震モーメントの事前推定 | #島崎邦彦(東京大) |
| 13:30 S18-03 | 緊急地震速報（警報）の10年のレビュー | #鷹野澄・鶴岡弘(東大) |
| 13:45 S18-04 | 地震防災における事前情報の役割と課題 | #福島洋(東北大災害研) |
| 14:00 S18-05 | 文化財・美術資料となりうる地震火山資料 | #室谷智子(国立科学博物館) |
| 14:15 S08-01 | 高速伝播するゆっくりすべり | #福山英一・山下太・徐世慶(防災科研) |
| 14:30 S08-02 | Evolution of Fault Zone Properties Inferred from Fault-Interface Rayleigh Wave Speed Measurement | #Shiqing Xu, Eiichi Fukuyama, Futoshi Yamashita(NIED) |
| 14:45 | 休憩 | |
| 15:00 S08-03 | ICDP 南アフリカ金鉱山 地震発生場掘削の完了 | #小笠原宏(立命大)・矢部康男・伊藤高敏(東北大)・DSeisチーム(ICDP) |
| 15:15 S08-04 | Reflection seismic imaging of the causative geological structure of the M5.5 earthquake (2014) in South Africa | #Musa Manzi(Wits Univ.), Alireza Malehmir(Uppsala Univ.), Raymond Durrheim(Wits Univ.), Hiroyuki Ogasawara, Hiroshi Ogasawara(Ritsumeikan Univ.), ICDP DSeis team |
| 15:30 S08-05 | Interpretation of the merged 3D seismic volume covering the seismogenic zone of M5.5 Orkney earthquake, South Africa | #Lindsay Linzer(Wits Univ., SRK Consulting), Musa Manzi(Wits Univ.), ICDP DSeis Team |
| 15:45 S08-06 | M5.5 Orkney地震の余震発生帯から回収された断層岩の鉱物学的特徴（ICDP DSeis project） | #金木俊也・横山友暉・廣野哲朗(大阪大)・矢部康男(東北大)・小笠原宏(立命館大) |

## C会場（3階中会議室）　午後
**S15.地盤構造・地盤震動，S02.地震計測・処理システム，S04.テクトニクス**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

座長　横井俊明・熊谷博之・溜渕功史・高橋雅紀

| | | |
|---|---|---|
| 13:00 S15-04 | 微動観測記録に基づく横手盆地の地下構造の推定 | #佐藤啓太(京大工)・松島信一(京大防災研)・吾妻崇(産総研)・野澤貴(鹿島)・松下隼人・増田竣介(京大工) |
| 13:15 S15-05 | スペクトル・インバージョンに基づく岡山県内の強震観測点におけるサイト増幅特性 | #畝岡歩・小松正直・竹中博士(岡山大)・大島光貴(清水建設)・西村敬一(岡山理大)・川瀬博(京都大) |
| 13:30 S15-06 | 常陸那珂港で観測される周期2秒の顕著な後続波群 | #植竹富一(東京電力HD) |
| 13:45 S02-01 | 機械学習によるP波・S波の自動判別 | #溜渕功史(気象研) |
| 14:00 S02-02 | 教師なし学習による連続波形記録上の地震およびノイズ信号の自動分類 | #小寺祐貴(気象研)・酒井慎一(東大地震研) |
| 14:15 S02-03 | 異なるゲージ長を用いた海底光ファイバーケーブルを介して記録されたDASデータからの事象の分離 | #木村恒久(シュルンベルジェ)・荒木英一郎・横引貴史(JAMSTEC) |
| 14:30 S02-04 | 震源振動の放射特性に関する放射方位の双極性について | #菊池年晃(防衛大) |
| 14:45 | 休憩 | |
| 15:00 S02-05 | Determining Magnitudes of Large Earthquakes in Japan using Seismic Stations in China | #Dun Wang・Qiang Yao・Yuqi Sang(CUG)・Lihua Fang(IGCEA) |
| 15:15 S02-06 | WINネットワーク上でのファイル交換 | #大竹和生(気象大学校) |
| 15:30 S02-07 | ネパールにおける準リアルタイム震源パラメータ公開のための地震観測、自動震源決定システム | #堀内茂木(ホームサイスモメータ)・山田真澄(京大防災研)・宮川幸治・三宅弘恵・纐纈一起(東大地震研)・Chintan Timsina・Mukunda hattarai・Lok Bijaya Adhikari(DMG, Nepal) |
| 15:45 S02-08 | コロンビアとエクアドルにおける自動CMT解および津波波高推定システムの導入と運用 | #熊谷博之・吉本昌弘(名大環境)・V. Dionicio(コロンビア地質調査所)・前田裕太(名大環境)・W. Acero・G. Ponce(エクアドル地球物理研究所)・J.C. Bermudez(名大環境)・O. Chamorro(コロンビア地質調査所) |

## D会場（4階プレゼンテーションルーム）　午後
**S21.地震波・地震動の理論と解析50年，S06.地殻構造**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

座長　竹中博士・佐藤壮・石瀬素子・飯高隆

| | | |
|---|---|---|
| 13:00 S21-12 | 大阪府熊取町でのアレイ観測による微動回転成分から求めたラブ波位相速度 | #吉田邦一(地盤研)・上林宏敏(京大) |
| 13:15 S21-13 | 3次元理論地震波形計算によるグリーンランド氷床のQ値の推定 | #豊国源知(東北大理予知セ)・竹中博士・小松正直(岡山大)・高木涼太(東北大理予知セ)・金尾政紀(極地研)・坪井誠司(JAMSTEC) |
| 13:30 S21-14 | 弾性波動方程式の数値解の平滑化スキーム その1：全体概要と差分法 | #藤原広行(防災科研)・今井隆太(みずほ情報総研) |
| 13:45 S21-15 | 弾性波動方程式の数値解の平滑化スキーム その2：混合型有限要素法の定式化 | #今井隆太(みずほ情報総研)・藤原広行(防災科研) |
| 14:00 S06-01 | 北海道南西部における深部反射法地震探査の成果 | #佐藤比呂志・石山達也・加藤直子・岩崎貴哉(東大地震研)・清水英彦・川崎慎治(地科研)・阿部進・横井悟(石油資源開発)・佐藤壮・野徹雄・三浦誠一・小平秀一(JAMSTEC) |
| 14:15 S06-02 | 2017年石狩平野横断深部反射法地震探査の屈折・広角反射法解析 | #岩崎貴哉・佐藤比呂志・石山達也・加藤直子(東京大地震研)・川崎慎治・清水英彦(地球科学総合研究所)・阿部進・横井悟(石油資源開発) |
| 14:30 S06-03 | 地震探査による日本海・北海道西方沖～石狩平野海陸境界域の地殻構造 | #佐藤壮・野徹雄・小平秀一・三浦誠一(JAMSTEC)・石山達也・佐藤比呂志(東大地震研) |
| 14:45 | 休憩 | |
| 15:00 S06-04 | 東北地方米沢-会津地域における地震波反射面の空間分布 | #鈴木真奈美・長谷見晶子・岡田知己・松澤暢・海野徳仁・中山貴史(東北大予知セ)・津村紀子(千葉大・理)・山品匡史(高知大・理工)・2011年東北地方太平洋沖地震 合同余震観測グループ |
| 15:15 S06-05 | 見かけの異方性を考慮したP波方位異方性と鉛直異方性の解釈：東北地方 | #石瀬素子・川勝均(東大地震研)・森重学(JAMSTEC)・汐見勝彦(防災科研) |
| 15:30 S06-06 | MeSO-net,K-NET,KiK-netデータを用いた三次元Qs値スペクトルインバージョン | #中村亮一・鶴岡弘・加藤愛太郎・酒井慎一・平田直(東大地震研) |
| 15:45 S06-07 | DONET常時微動記録を用いた実体波の抽出：付加体先端部の構造モニタリングに向けて | #利根川貴志・荒木英一郎・木村俊則(JAMSTEC) |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 16:00 | S23-14 | 地震のトリガリング研究からみた活断層の破壊パターン | #遠田晋次(東北大学災害科学国際研究所) | 16:00 | S08-07 | An overview of DSeis endeavours in Cooke 4 mine and laboratory tests on DSeis cores | #Siyanda Mngadi, Raymond Durrheim, Musa Manzi(Wits Univ.), Yasuo Yabe(Tohoku Univ.), Neta Wechsler(Tel Aviv Univ.), Hiroshi Ogasawara(Ritsumeikan Univ.), Gerrie van Aswegen(IMS), Anthony Ward, Sylvester Morema(Seismogen cc), ICDP DSeis team | 16:00 | S02-09 | 被災度判定計を用いた防災ネットワークシステムの徳島県における実証実験 その1 実証実験の概要と被災度判定計の設置 | #岡田由佳・小川春彦・三津橋歩(ミサワ総研)・梶川久光・白井亮太朗(明治大理工) | 16:00 | S06-08 | 南海トラフ地震発生帯の地殻構造：三次元地震探査データ再解析による新しい反射波イメージ | #白石和也・山田泰広(JAMSTEC)・木下正高(東大地震研)・木村学(東京海洋大) |
| 16:15 | S23-15 | Anchoring Earthquake Slips: A Common-axis Study on Large Subduction Zone Earthquakes | #Ta-Wei Chang(EPS, Univ. Tokyo), Satoshi Ide(EPS, Univ. Tokyo) | 16:15 | S08-08 | Nonlinear rock behaviour in polycrystalline rock and its implication on underground stress measurements | #Bryan Watson(University of Witwatersrand), ICDP DSeis Team | 16:15 | S04-01 | 地質学的時間スケールにおけるフィリピン海プレートの運動の諸問題 | #高橋雅紀(産総研地質情報) | 16:15 | S06-09 | 沈み込むフィリピン海プレートからの反射波の振幅の不均質性 | #飯高隆・藏下英司・五十嵐俊博・岩崎貴哉(東大地震研) |
| 16:30 | S23-16 | 不均質な滑り分布と地震活動モデルの整合性 | #平野史朗(立命館大理工) | 16:30 | S08-09 | 南アフリカ大深度金鉱山で発生したMw2.2の地震の震源域の応力場 | #矢部康男(東北大・理)・阿部周平(国際航業)・小笠原宏(立命館大)・伊藤高敏(東北大・流体研)・船戸明雄(深田研)・R. Drurheim(Wits大)・H. Yilmaz(Rock Mech. Lab.)・G. Hofmann(Anglogold) | 16:30 | S04-02 | 九州の回転テクトニクス | #眞島英壽(明治大) | 16:30 | S06-10 | 日本列島下のPS変換面イメージング2.0 | #川勝均・金慧貞(東大地震研) |

＊は招待講演

## ポスター　10月10日（水）16：45～18：15　ポスター会場（1階多目的展示ホール（A））
## S02, S04, S06, S08, S09, S15, S18, S21, S25

### S02.地震計測・処理システム

| | | |
|---|---|---|
| S02-P01 | 南九州川内地域周辺における高密度地震観測網（AK-net）の構築 | #中元真美・澤田義博・笠原敬司・Panayotopoulos Yannis・関根秀太郎(地震予知振興会) |
| S02-P02 | 埼玉県さいたま市見沼区および周辺地域で観測された地震の波形データの解析による見沼区の地盤特性の推定 | #林春太朗・荒井賢一(栄東高等学校)・野間鉄心(栄東中学校) |
| S02-P03 | 日本海溝海底地震津波観測網（S-net）のノイズレベル評価 | #植平賢司・功刀卓・汐見勝彦・青井　真・高橋成実・近貞直孝・松本拓己・中村武史(防災科研)・篠原雅尚・山田知朗(東大地震研)・望月将志(文科省)・金沢敏彦(地震予知振興会) |
| S02-P04 | 広帯域海底地震計鉛直成分のノイズ除去による表面波アレイ計測 | #川野由貴・一瀬建日・川勝均・塩原肇(東大地震研) |
| S02-P05 | DONET海中部センサーの長期安定性評価 | #中野優・堀高峰(JAMSTEC)・高橋成実(防災科研) |
| S02-P06 | 高分解能加速度センサーによる高精度傾斜計測の試み | #石原　靖・深尾良夫・金泰運(JAMSTEC) |
| S02-P07 | 高密度地震観測網における観測データの時刻補正 | #木村武志・青井真(防災科研)・酒井慎一・平田直(防災科研・東大地震研) |
| S02-P08 | 特殊な状況下で用いる時刻校正システムの開発 | #大竹和生(気象大学校) |
| S02-P09 | WINシステムで利用可能なWeb利用のリアルタイム波形表示 | #伊藤貴盛((株)aLab) |
| S02-P10 | Tremor identification by deep learning | 石永祥(北京大)・#川勝均・鶴岡弘・石瀬素子(東大地震研)・宁杰远(北京大) |
| S02-P11 | Singular Spectrum Analysisによる2017年熊本地震の余震のS波到着時刻の読み取り | #大島光貴(清水建設(株)) |
| S02-P12 | DASテクノロジーを用いて日本で記録された地震イベントのまとめと将来のビジョン | #木村恒久(シュルンベルジェ) |
| S02-P13 | 速度構造の震源決定位置への影響について(3) | #勝間田明男(気象研) |

### S04.テクトニクス

| | | |
|---|---|---|
| S04-P01 | New tremor detection in Puysegur and Marlborough fault system, New Zealand | #Pierre Romanet, Satoshi Ide(EPS, University of Tokyo) |

### S06.地殻構造

| | | |
|---|---|---|
| S06-P01 | 1993年北海道南西沖地震震源域～日本海盆での地殻構造探査 | #野徹雄・佐藤壮・小平秀一・三浦誠一(JAMSTEC)・石山達也・佐藤比呂志(東大地震研) |
| S06-P02 | 反射法地震探査による会津盆地の地下構造 | #伊藤忍・木下佐和子・山口和雄・内田洋平・石原武志(産総研)・竜沢篤ノ助(早稲田大) |
| S06-P03 | 2次元重合前深度マイグレーションによる2011年東北沖地震破壊領域の地殻構造 | #郭晨・朴進午(東京大学大気海洋研究所) |
| S06-P04 | 福島県相馬沖の地震波速度構造 | #中東和夫(東京海洋大学)・佐藤壮・藤江剛・高橋努・三浦誠一・小平秀一(JAMSTEC) |
| S06-P05 | 富士山，箱根火山周辺の地震波減衰とマグマ溜り | #柏木広和・中島淳一(東工大)・松澤暢(東北大) |
| S06-P06 | レシーバ関数を用いた伊豆島弧衝突帯の地殻構造解析（2） | #安部祐希・本多亮・行竹洋平(温地研) |
| S06-P07 | 重力異常解析による富来川南岸断層の構造 | #平松良浩・澤田明宏(金沢大学)・穴田文浩・吉田進・浜田昌明・石田聡史・宮本慎也(北陸電力)・長貴浩(総合地質調査)・小鹿浩太(応用地質) |
| S06-P08 | 地震波干渉法で探る地震発生と水の関係（2） | #片尾浩(京大防災研) |
| S06-P09 | 2017年9月3日に北朝鮮で発生した爆発的事象による長周期表面波 | #山田浩二(阪神コンサルタンツ) |
| S06-P10 | レシーバ関数解析による西南日本スロー地震発生域周辺の構造変化の検出 | #佐脇泰典(京大理)・伊藤喜宏・太田和晃・澁谷拓郎(京大防災研) |
| S06-P11 | 四国西部深部低周波微動域周辺における異方性構造の変化2:理論波形に基づく解釈 | #汐見勝彦(防災科研) |
| S06-P12 | 稠密余震観測による2016年熊本地震震源域周辺の不均質構造 | #蔵下英司・酒井慎一・加藤愛太郎・飯高隆・岩崎貴哉・平田直(東大地震研)・2016年熊本地震合同地震観測グループ |
| S06-P13 | 地震波トモグラフィーを用いた九州地方における三次元速度構造の推定 | #鳥家充裕・山田浩二(阪神コンサルタンツ) |
| S06-P14 | 九州地方における地殻の内部減衰と散乱減衰の三次元構造 | #志藤あずさ・松本聡(九大地震火山セ)・大倉敬宏(京大火山セ) |
| S06-P15 | 琉球海溝沈み込み帯北部の地震波速度構造 | #山本揚二朗・高橋努・石原靖・尾鼻浩一郎・三浦誠一・小平秀一(JAMSTEC)・金田義行(香川大) |
| S06-P16 | NZプロジェクト　ーヒクランギ沈み込み帯での大規模海底地震観測ー | #新井隆太・小平秀一・藤江剛・尾鼻浩一郎・山本揚二朗・三浦誠一(海洋研究開発機構)・望月公廣(東大地震研)・仲谷幸浩(鹿児島大)・Stuart Henrys・Dan Barker・Richard Kellett・Dan Bassett(GNS)・Nathan Bangs・Harm van Avendonk(テキサス大) |
| S06-P17 | 水中スピーカーを用いた三次元反射法地震探査データ取得実験 | #小川真由・清水史緒・鶴哲郎・古山精史朗(海洋大)・朴進午・郭晨(AORI)・荒井晃作・井上卓彦(産総研) |

### S08.地震発生の物理

| | | |
|---|---|---|
| S08-P01 | 日本列島下におけるスラブ内地震の放射効率 | #足立夢成・中島淳一(東工大)・松澤暢(東北大) |
| S08-P02 | スラブ地殻内地震～相転移境界と応力擾乱～ | #臼井友輔・中島淳一(東工大)・松澤暢(東北大) |
| S08-P03 | 南海沈み込み帯における誘発微動と表面波による応力摂動 | #池田亮平・須田直樹(広島大理) |
| S08-P04 | 西南日本の長期的SSE期間に誘発される深部低周波微動の空間的特徴 | #中本敬大(金沢)・平松良浩(金沢大)・松澤孝紀(防災科研) |
| S08-P05 | GNSSデータのスタックによる四国西部の短期的SSEのすべり分布の推定 | #加納将行(東北大理)・加藤愛太郎・小原一成(東大地震研) |
| S08-P06 | アジョイント法によるSSE発生域の摩擦特性の推定 | #加納将行(東北大理)・宮崎真一(京大理)・平原和朗(理研) |
| S08-P07 | 有限要素計算を用いた豊後水道の長期的スロースリップサイクルシミュレーション | #縣亮一郎・堀高峰(JAMSTEC)・藤田航平(東大地震研)・兵藤守(JAMSTEC)・市村強(東大地震研) |
| S08-P08 | 関東地震と房総沖スロースリップイベントのモデル化 | #中田令子・縣亮一郎・兵藤守・堀高峰(JAMSTEC) |
| S08-P09 | 三陸沖北部から房総沖にかけての地震発生シミュレーション | #藤田健一・弘瀬冬樹(気象研)・前田憲二(気象庁) |
| S08-P10 | 速度・状態依存摩擦則に従う断層が並行する場合：スロースリップ断層ときどき高速すべり化 | #三井雄太(静大理) |
| S08-P11 | Multiple Cracks in Brittle Solids: Individual Mechanical Interaction versus Collective Behavior | #Koji Uenishi(GSFS, Univ. Tokyo), Yuki Fukuda(Sch. Eng., Univ. Tokyo), Nobuki Kame(ERI, Univ. Tokyo) |
| S08-P12 | Wave Propagation and Dynamic Rupture in a Granular Slope | #Koji Uenishi(GSFS, Univ. Tokyo), Tsukasa Goji(Sch. Eng., Univ. Tokyo) |
| S08-P13 | 0.1満点観測によって得られた鳥取県西部地震震源領域における微小地震のメカニズム解の特徴について | #林田祐人・松本聡(九大)・飯尾能久(京大防災研)・酒井慎一・加藤愛太郎(東大地震研)・0.1満点地震観測グループ |
| S08-P14 | P波初動データから得た応力場の空間パターンに基づくメカニズム解推定 | #岩田貴樹(常盤大学) |
| S08-P15 | 2016年熊本地震震源断層および日奈久断層周辺の応力場の時空間変化について | #光岡郁穂・松本聡(九大理)・志藤あずさ(九大地震火山セ)・山下裕亮(京大防災研)・中元真美(地震予知振興会)・宮崎真大・飯尾能久(京大防災研)・酒井慎一(東大地震研)・2016年熊本地震合同観測グループ |
| S08-P16 | 遠地実体波を用いた2016年熊本地震の断層形状と破壊伝播の同時推定 | #茅野奎太・八木勇治(筑波大学) |
| S08-P17 | 2016年ニュージーランド Kaikōura地震の複雑な震源過程について | #前畑健人・八木勇治・清水宏亮・奥脇亮(筑波大) |
| S08-P18 | 流体関与の地震のnon-double-couple成分 | #今西和俊・内出崇彦(産総研) |
| S08-P19 | P波の変位振幅の立ち上がりのマグニチュード依存性 (2) | #立岩和也・岡田知己・内田直希(東北大理) |
| S08-P20 | 繰り返し地震の地震サイクルにおけるその近傍の微小地震活動～パークフィールドと東北沖との比較～ | #田中麻莉子・内田直希・松澤暢(東北大理)・Robert M. Nadeau(UC Berkeley) |
| S08-P21 | 南アフリカMponeng金鉱山地表下3.3 kmで発生したM2地震前後のAcoustic Emissionの震源位置標定と絶対規模推定 | #松田幹生・直井誠・南隆太郎・石田毅(京大)・中谷正生(東大)・矢部康男(東北大) |
| S08-P22 | 4m長模擬断層面で観測された主破壊に至るまでの前震活動の特徴 | #山下太・福山英一・徐世慶(防災科研) |
| S08-P23 | M5.5 Orkney地震の余震発生帯から回収された断層岩の微小変形構造（ICDP DSeis project） | #横山友暉・金木俊也・廣野哲朗(大阪大)・矢部康男(東北大)・小笠原宏(立命館大) |

### S09.活断層・歴史地震

| | | |
|---|---|---|
| S09-P01 | 主断層から離れた地点に生じた小規模な地表地震断層上における古地震履歴：阿蘇カルデラ北西部，阿蘇市宮地のトレンチ調査 | #石村大輔(首都大)・熊原康博(広島大)・堤浩之(同志社大)・遠田晋次・高橋直也(東北大)・市原季彦(堆積環境リサーチ)・高田圭太((株)復建調査設計)・加藤佑一(首都大) |
| S09-P02 | 熊本県益城町の地震断層を横断する反射法地震探査 | #青柳恭平・上田圭一(電中研)・竹本哲也・末広匡基・宮脇理一郎(阪神コンサル) |
| S09-P03 | 地中レーダを用いた台湾山脚断層の検出 | #中村衛(琉球大理)・陳浩維(台湾中央大) |
| S09-P04 | 1944年東南海地震、1945年三河地震における豊田市域の震度分布 | #廣内大助(信州大)・服部亜由未(愛知県立大)・前島訓子(桶山女学園大・非)・内山琴絵・西尾さつき・阿部雅也(名古屋大) |
| S09-P05 | 殖産興業の民間先駆者　田中長嶺が見た濃尾地震 | #平井敬(名大環境) |
| S09-P06 | 伊豆・小笠原諸島海域の断層分布 | #新井麗・勝山美奈子・田中恵介・鎌田弘己・高橋成実(JAMSTEC)・佐藤智之・井上卓彦(AIST)・金田義行(香川大) |
| S09-P07 | 伊豆・小笠原海域の三次元速度構造 | #勝山美奈子・新井麗・田中恵介・高橋成実・鎌田弘己(JAMSTEC)・佐藤智之・井上卓彦(AIST)・金田義行(香川大) |
| S09-P08 | 南海トラフ西部周辺海域おける断層分布 | #眞保敬・新井麗・勝山美奈子・田中恵介・高橋成実・鎌田弘己(JAMSTEC)・佐藤智之・井上卓彦(AIST)・金田義行(香川大) |
| S09-P09 | 南西諸島海域における波源断層モデルの構築と島嶼部における津波の影響評価 | #乗松君衣・松山尚典(応用地質)・大角恒雄(防災科研)・高橋成実(JAMSTEC/防災科研)・藤原広行(防災科研) |

### S15.地盤構造・地盤震動

| | | |
|---|---|---|
| S15-P01 | 地中と地表における地震記録のデコンボリューションの微分波形 | #柴田剛・中原恒(東北大理) |
| S15-P02 | データ同化に基づく地中地震記録を用いた地表地震動の予測 | #石原正也・中原恒(東北大・理) |
| S15-P03 | 拡張SPAC法のインコヒーレントノイズ補正 | #長郁夫(産総研) |
| S15-P04 | 微動アレー観測に含まれるばらつきを考慮した地盤増幅特性の評価法に関する検討 | #林穂高・後藤浩之・澤田純男(京大防災研) |
| S15-P05 | 微動アレイ探査の位相速度特性に基づく強震動予測のための地盤の類型化 | #先名重樹・若井淳(防災科研)・谷田貝淳・松山尚典(応用地質)・藤原広行(防災科研) |
| S15-P06 | 東海地域における浅部深部統合地盤モデルの構築 | #若井淳・先名重樹(防災科研)・神薫・谷田貝淳・稲垣賢亮・松山尚典(応用地質)・藤原広行(防災科研) |
| S15-P07 | 地震動と微動の広帯域観測記録より推定したネパール・カトマンズ盆地の表面波位相速度 | #林田拓己・横井俊明(建築研)・バッタライムクンダ(ネパール鉱山地質局) |
| S15-P08 | Construction of a 3-D velocity model for ground motion simulation in the Kathmandu Basin, Nepal | #Subeg Bijukchhen, Nobuo Takai(Hokkaido Univ.), Michiko Shigefuji(Kyushu Univ.), Masayoshi Ichiyanagi(Hokkaido Univ.), Tsutomu Sasatani, Yokito Sugimura |
| S15-P09 | 瑞浪地殻変動観測壕内で発生した有感地震イベントによる地下構造の変化 | #國友孝洋(東濃地震研・名大)・浅井康広・石井紘(東濃地震研) |

### S18.地震一般・その他

| | | |
|---|---|---|
| S18-P01 | Hi-net地震記録から推定する地震モーメントとモーメントマグニチュード | #上野友岳・齊藤竜彦(防災科研) |

### S21.地震波・地震動の理論と解析50年

| | | |
|---|---|---|
| S21-P01 | 見掛け輻射特性の周波数・距離依存性の空間変化 | #武村俊介・齊藤竜彦・久保久彦・汐見勝彦(防災科研) |
| S21-P02 | 海底地震計記録の自己相関関数の時間変化の要因を探る | #植村美優(京大理)・伊藤喜宏 ・太田和晃(京大防災研)・日野亮太(東北大)・ 篠原雅尚(東大地震研) |
| S21-P03 | 秋田県森吉山周辺で観測されたS-S散乱波の波形形状の時間変化 | #雨澤勇太・小菅正裕・前田拓人(弘前大理工) |
| S21-P04 | 地球の曲率を考慮した3次元構造モデルに基づく地震動・地殻変動・津波統合シミュレーション | #竹中博士・小松正直(岡山大)・中村武史(防災科研)・豊国源知(東北大)・岡元太郎(東工大) |

### S25.2018年9月6日北海道胆振地方中東部の地震

8ページ参照

# 10月11日（木）口頭発表

## A会場（1階コンベンションホール（A））　午前
**S23.地震活動とその物理**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）
座長　有吉慶介・麻生尚文

| | | | |
|---|---|---|---|
| 9:00 | S23-17* | 地震発生プロセスと確率過程 | #井出哲(東大・理)・麻生尚文(東工大)・矢部優(JAMSTEC) |
| 9:20 | S23-18 | 確率論的な応力擾乱で再現されるスロー地震 | #麻生尚文(東工大)・安藤亮輔・井出哲(東大理) |
| 9:35 | S23-19 | スロー地震活動のモデリング：速度強化摩擦の不均質性が与える影響 | #小澤創・波多野恭弘(東大地震研) |
| 9:50 | S23-20 | EnKFによるLSSE発生域の摩擦特性およびすべり発展推定に関する数値実験　－固着域の影響― | #平原和朗(理研)・錦織健人(協立電機) |
| 10:05 | S23-21 | 非地震性すべりの伝播速度と摩擦特性との関係：実際問題への適用に向けて | #有吉慶介(海洋機構)・Jean-Paul Ampuero(Caltech)・Roland Burgmann(UC Berkeley)・松澤暢・長谷川昭・日野 亮太(東北大観測セ)・堀高峰(海洋機構) |

## B会場（1階コンベンションホール（B））　午前
**S08.地震発生の物理**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長　久保田達矢・吉光 奈奈

| | | | |
|---|---|---|---|
| 9:00 | S08-10 | Variation of source parameters in Oklahoma estimated by Markov Chain Monte Carlo method | #Nana Yoshimitsu(ERI, U. Tokyo), Takuto Maeda(Hirosaki Univ.), William Ellsworth(Stanford Univ.) |
| 9:15 | S08-11 | 周波数帯域を制限したBackprojectionイメージと解像される断層滑りの関係 | #奥脇亮・八木勇治(筑波大) |
| 9:30 | S08-12 | ポテンシーテンソルの時空間分布を推定するインバージョン解析法の開発: 2013年パキスタン・バローチスターン地震への適用 | #清水宏亮・八木勇治・奥脇亮(筑波大)・深畑幸俊(京大防災研) |
| 9:45 | S08-13 | Doublet earthquake triggering for the April 2014 events in the Solomon Islands | #Calvin Qwana(Grad School Science, Kyoto Univ.), Masatoshi Miyazawa, Jim Mori(DPRI, Kyoto Univ.) |
| 10:00 | S08-14 | Fault model of the Te Araroa earthquake, New Zealand, using ocean bottom pressure records | #Tatsuya Kubota, Tatsuhiko Saito(NIED), Yoshihiro Ito(DPRI), Yoshihiro Kaneko(GNS Science), Laura Wallace(UTIG), Syuichi Suzuki, Ryota Hino(Tohoku Univ.), Stuart Henrys(GNS Science) |
| 10:15 | S08-15 | 津波記録及び震度データに基づいた1906年エクアドル・コロンビア地震(Mw8.4)の震源モデル | #プリード ネルソン(防災科研)・吉本昌弘(名大)・サラビア ミレーナ・アルセィーラモ―ニカ(コロンビア地質調査所) |

## C会場（3階中会議室）　午前
**S03.地殻変動・GNSS・重力**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長　川元智司・石川直史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 9:00 | S03-01 | 黒潮大蛇行がGNSS-A観測に与える影響 | #横田裕輔・石川直史(海洋情報部) |
| 9:15 | S03-02 | GNSS-A観測による非定常地殻変動の検出可能性 | #石川直史・横田裕輔(海洋情報部) |
| 9:30 | S03-03 | 房総半島で2009年11月頃に発生した小規模スロースリップイベント | #矢来博司(地理院) |
| 9:45 | S03-04 | Coseismic Slip Distribution of the 2016 Kumamoto Earthquake: via the GNSS Carrier Phase to Fault Slip Approach | #田中優介・太田雄策(東北大学)・宮崎真一(京都大学) |
| 10:00 | S03-05 | GEONET新解析戦略（F4）の開発 | #川元智司・阿部聡・畑中雄樹(国土地理院)・高松直史(文部科学省) |
| 10:15 | S03-06 | 神岡鉱山での光ファイバ歪計による歪・地震観測 | #荒木英一郎・木村俊則(JAMSTEC)・Mark Zumberge(SIO, UCSD) |

## D会場（4階プレゼンテーションルーム）　午前
**S06.地殻構造，S10.地震に伴う諸現象**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長　神薗めぐみ・大上隆史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 9:00 | S06-11 | 大規模人工地震探査による南九州下の地殻構造の解明（2）予備的成果と2018年観測計画 | #宮町宏樹(鹿児島大)・高橋浩晃・青山裕・椎名高裕・田真秀・一柳昌義・山口照寛・小野夏生・齊藤一真・伊藤ちひろ・村井芳夫(北海道大)・筒井智樹・井上雄介・竹井瑠一(秋田大)・山本希・平原聡・中山貴史・東龍介・大友周平・日野亮太(東北大)・阿部英二・蔵下英司・岩崎貴哉・篠原雅尚・山田知朗(東京大)・中東和夫(東京海洋大)・渡辺俊樹・前田裕太・堀川信一郎・奥田隆・辻修平・長谷川大真(名古屋大)・片尾浩・澁谷拓郎・三浦勉・中川潤・加藤慎也・山下裕亮(京都大)・松島健・手操佳子・宮町凜太郎・Agnis Triahadini・磯田謙心・清水洋(九州大)・小林励司・早田正和・仲井一穂・八木原寛・平野舟一郎(鹿児島大)・田中康久・川崎慎治・佐藤紀男(地科研) |
| 9:15 | S06-12 | 日奈久断層帯海域延長部における詳細な断層形状と右横ずれ運動 | #大上隆史(産総研)・阿部信太郎(地震予知振興会)・向山建二郎(川崎地質)・須田茂幸(地科研) |
| 9:30 | S06-13 | 2016年熊本地震震源域における内部・散乱減衰空間分布と強散乱体 | #神薗めぐみ(九大理)・松本聡・志藤あずさ(九大地震火山セ)・山下裕亮(京大防災研)・中元真美(地震予知振興会)・宮崎真大(京大防災研)・酒井慎一(東大地震研)・飯尾能久(京大防災研)・2016年熊本地震合同地震観測グループ |
| 9:45 | S06-14 | S波反射法とレシーバー関数解析から推定された近畿地方中北部における地震学的構造 | #加藤慎也・飯尾能久・澁谷拓郎・片尾浩・澤田麻沙代・冨阪和秀(京大防災研) |
| 10:00 | S10-01 | 深海底における環境放射線変動と周辺地震－相模湾初島沖観測結果（2002年11月～2018年2月）－ | #岩瀬良一(JAMSTEC) |
| 10:15 | S10-02 | 地震に伴う地鳴り現象の解明に向けて（その2） | #関根秀太郎(地震予知振興会)・根本泰雄(桜美林大自然科学)・大竹和生(気象大学校)・松林弘智(ANET)・酒井慎一(東大地震研) |

## A会場（1階コンベンションホール（A））　午後
**S08.地震発生の物理**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長　行竹洋平・野田朱美・鈴木岳人・大谷真紀子

| | | | |
|---|---|---|---|
| 13:15 | S08-16 | ウォレスーポット仮説の理論的背景 | #松浦充宏(統計数理研)・野田朱美(防災科技研)・寺川寿子(名大環境) |
| 13:30 | S08-17 | １９９２年ランダース地震震源域の絶対応力場 | #寺川寿子(名大環境)・Egill Hauksson(Caltech) |
| 13:45 | S08-18 | 弾性・非弾性歪み解析を用いた地震間の応力蓄積・解放の推定：別府－島原地溝帯周辺域への適用 | #野田朱美・齊藤竜彦・福山英一(防災科研)・寺川寿子(名大環境)・松浦充宏(統数研) |
| 14:00 | S08-19 | 東北日本で発生する火山深部低周波地震のメカニズム解 | #及川元己・麻生尚文・中島淳一(東工大)・松澤暢(東北大) |
| 14:15 | S08-20 | Repeating M5 Earthquakes Associated with the 2018 Kilauea, Hawaii Eruption | #James Mori, Shiro Ohmi(DPRI, Kyoto University) |
| 14:30 | S08-21 | メカニズム解のMisfit角を用いた応力場不均質性の推定 | #行竹洋平(神奈川温地研)・飯尾能久(京大防災研) |
| 14:45 | S08-22 | 断層の端はどうなっているのか？ | #飯尾能久(京大防災研) |
| 15:00 | | 休憩 | |
| 15:15 | S08-23 | 東北日本沈み込み境界における大きな地震後のモーメント解放速度・余震数の時間的減衰 | #森上竣介・三井雄太(静大理) |
| 15:30 | S08-24 | RSF則に基づいたダイナミックトリガーに関する数値シミュレーション：2. 法線応力依存性 | #吉田真吾・加藤尚之(東大地震研) |
| 15:45 | S08-25 | バネブロックモデルで観察される地震と周期的SSEの同期 | #大谷真紀子(産総研)・亀伸樹・中谷正生(東大地震研) |
| 16:00 | S08-26 | スペクトル境界積分方程式法を用いた粘弾性媒質中の断層における動的地震サイクルシミュレーション～摩擦特性vs粘弾性～ | #三宅雄紀(京大理)・野田博之(京大防災研) |
| 16:15 | S08-27 | 亀裂の最終滑り量の初期流体圧分布に対する鋭敏性とその地震学的意義 | #鈴木岳人(青学大理工) |
| 16:30 | S08-28 | フラクタルな不均質性をもつ断層でのGR則のb値と応力の関係 | #植村堪介・井出哲(東大理)・青地秀雄(BRGM) |
| 16:45 | S08-29 | 南西諸島における震源スケーリング | #小松正直・竹中博士(岡山大学) |

## B会場（1階コンベンションホール（B））　午後
**S23.地震活動とその物理**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長　内田直希・西川友章・波多野恭弘・矢部優

| | | | |
|---|---|---|---|
| 13:15 | S23-22 | 琉球海溝・ヒクランギ海溝における群発地震活動と スロースリップ活動の比較 | #西川友章・西村卓也(京大防災研) |
| 13:30 | S23-23 | 小笠原海溝沿いの地震を伴う海底地殻変動 | #深尾良夫・伊藤亜紀・山下幹也・利根川貴史(JAMSTEC)・杉岡裕子(神戸大)・塩原肇・東野陽子(東大地震研) |
| 13:45 | S23-24 | 地震活動から探る房総スロースリップイベントの発生履歴 | #石辺岳男・松浦律子・津村建四朗・岩佐幸治・古村美津子(地震予知振興会) |
| 14:00 | S23-25 | 東北地方太平洋沖地震後の周期的スロースリップ：繰り返し地震，超低周波地震および海底地殻変動観測による検出 | #内田直希・本荘千枝・富田史章(東北大)・松澤孝紀(防災科研)・Roland Burgmann(UC Berkeley) |
| 14:15 | S23-26 | 3次元速度構造モデルに基づく理論波形を用いた十勝沖・東北沖における超低周波地震の検出 | #馬場慧・竹尾明子・小原一成(東大地震研)・前田拓人(弘前大理工)・松澤孝紀(防災科研) |
| 14:30 | S23-27 | 3次元不均質構造を用いた紀伊半島沖から室戸沖にかけての浅部超低周波地震のCMTインバージョン | #武村俊介・松澤孝紀・浅野陽一・木村武志(防災防災)・利根川貴志(海洋研究開発機構)・汐見勝彦(防災防災) |
| 14:45 | S23-28 | 日向灘浅部低周波微動活動に伴うエネルギー解放量の特徴 | #渡邉早姫(九大院理)・山下裕亮(京大防災研)・山田知朗・篠原雅尚(東大地震研)・松島健(九大地震火山セ) |
| 15:00 | | 休憩 | |
| 15:15 | S23-29 | 浅部低周波微動の地震波エネルギー | #矢部優・利根川貴志・中野優(JAMSTEC) |
| 15:30 | S23-30 | 浅部低周波微動のサイズ－頻度分布 | #中野優・矢部優(JAMSTEC)・杉岡裕子(神戸大理)・井出哲(東大理) |
| 15:45 | S23-31 | 日本における火山性深部低周波地震の活動の特徴 | #栗原亮・小原一成・竹尾明子(東大地震研) |
| 16:00 | S23-32 | 琉球列島における遠地地震による低周波地震誘発現象 | #金城亜祐美・中村衛(琉球大) |
| 16:15 | S23-33 | 山陰地方の微小地震活動の季節変動性 | #上田拓・加藤愛太郎(東大地震研) |
| 16:30 | S23-34 | 地震の核形成過程における応力摂動の影響 | #齋藤拓也・波多野恭弘(東大地震研) |
| 16:45 | S23-35 | 核形成過程と地震発生率の一般的関係と潮汐応答への応用 | #波多野恭弘(東大地震研) |

## C会場（3階中会議室）　午後
**S16.津波**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長　三反畑修・楠本聡・今井健太郎・秦真平

| | | | |
|---|---|---|---|
| 13:15 | S16-01 | 岩手・宮城・福島県における古津波堆積物と土砂移動計算を用いた869年貞観地震津波波源モデルの再検討 | #楠本聡(東大 地震研 )・Aditya Raidi Gusman(GNS Science)・ 佐竹健治(東大地震研 ) |
| 13:30 | S16-02 | 地殻変動データと遠地津波波形のインバージョンによる1960年チリ地震のすべり分布 | 何東政・#佐竹健治・綿田辰吾(東大地震研)・藤井雄士郎(建築研) |
| 13:45 | S16-03 | 津波火災はなぜ起きたのか？-1973北海道南西沖地震、奥尻島青苗地区火災の場合― | #榎本祐嗣・山辺典昭(信州大学上田)・杉浦繁貴・近藤斎(㈱コンボ研) |
| 14:00 | S16-04 | 反射波の時間長を変化させた場合の極大相関係数と2011年東北津波反射波の性質 | #阿部邦昭・岡田正実(なし) |
| 14:15 | S16-05 | データベース検索型津波遡上即時予測システムにおける二段階シナリオ選別 | #鈴木亘・近貞直孝・三好崇之・青井真(防災科研) |
| 14:30 | S16-06 | 海域観測網を用いた津波即時予測システムの瀬戸内海沿岸域への展開 | #高橋成実(防災科研)・今井健太郎・末木健太朗・大林涼子・柄本邦明(海洋機構)・石橋正信(和歌山県)・馬場俊孝(徳島大)・金田義行(香川大) |
| 14:45 | S16-07 | ニュージーランド・ケルマディック諸島近海における火山性津波地震 | #三反畑修・綿田辰吾・佐竹健治(東大地震研) |
| 15:00 | | 休憩 | |
| 15:15 | S16-08 | 短波長津波が生じた場合の海底水圧観測への影響 | #近貞直孝・久保田達矢・中村武史(防災科研)・馬場俊孝(徳島大)・齊藤竜彦・鈴木亘(防災科研) |
| 15:30 | S16-09 | 津波の非線形分散波方程式を効率的に解く新スキームの開発 | #秦真平・竹中博士・小松正直(岡山大)・中村武史(防災科研) |
| 15:45 | S16-10 | 遠地津波の後続波振幅推定のための太平洋全域30秒メッシュ計算 | #南雅晃・山本剛靖・中田健嗣(気象研) |
| 16:00 | S16-11 | 強震動による堤体基礎の脆弱性が津波氾濫に与える影響 | #今井健太郎(JAMSTEC)・中井健太郎(名大工)・野田利宏・新井伸夫(名大減災連携研究センター)・岩間俊二(防災技術コンサルタント)・馬場俊孝(徳島大理工) |
| 16:15 | S16-12 | 仙台平野の痕跡高データベースを利用した津波遡上解析の精度検証 | #鴫原良典・多田毅(防衛大学校) |
| 16:30 | S16-13 | 南西諸島海溝沿いの確率論的長期間平均津波ハザードの評価- | #平田賢治・藤原広行・中村洋光・大角恒雄・森川信之・河合伸一・前田宜浩・土肥裕史(防災科研)・松山尚典・遠山信彦・鬼頭直・大嶋健嗣(応用地質)・村田泰洋・斉藤龍(国際航業)・秋山伸一・是永眞理子・阿部雄太・袴田智哉(CTC) |
| 16:45 | S16-14 | 地すべりに起因する津波の確率論的評価手法に関する基礎的検討 | #木場正信(エングローブ)・松山昌史(電中研)・森勇人(中部電力) |

## D会場（4階プレゼンテーションルーム）　午後
**S07.地球及び惑星の深部構造と物性，**
**S01.地震の理論・解析法**

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長　田中聡・竹内希・悪原岳・西田究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 13:15 | S07-01 | P波波形を用いた海洋アセノスフェアの構造推定 | #竹内希・川勝均・塩原肇・一瀬建日(東大地震研)・杉岡裕子(神戸大)・伊藤亜妃(海洋研究開発機構)・歌田久司(東大地震研) |
| 13:30 | S07-02 | アレイ解析による北米大陸のマルチモード表面波位相速度分布 | #松澤仁志・吉澤和範(北大理) |
| 13:45 | S07-03 | 震源時間関数の再決定が波形インバージョンによる3次元速度構造推定に与える影響の定量的評価 | #山谷里奈・Anselme F.E. Borgeaud・河合研志・Robert J. Geller(東大理)・小西健介(中研院) |
| 14:00 | S07-04 | 波形インバージョンによる北部太平洋下D″領域の3次元S波速度構造推定 | #鈴木裕輝・河合研志・ゲラー ロバート(東大理) |
| 14:15 | S07-05 | ScS－S走時差残差の方位変化によるフィリピン直下下部マントルの方位異方性 | #田中聡(JAMSTEC) |
| 14:30 | S07-06 | オントン・ジャワ海台下のP波速度構造 | #大林政行・吉光淳子・末次大輔(JAMSTEC)・塩原肇(ERI)・杉岡裕子(神戸大理)・伊藤亜妃(JAMSTEC)・一瀬建日(ERI)・石原靖・田中聡・利根川貴志(JAMSTEC)・小林拓史(神戸大理) |
| 14:45 | S07-07 | GHz-DAC音速法の開発：KCl試料での予察的測定 | #米田明(岡山大)・小林真一郎・鎌田誠司(東北大) |
| 15:00 | | 休憩 | |
| 15:15 | S01-01 | 新たに見いだされた因果を及ぼし合わない弾性変形様式：質点が全空間に渡り突然引き起こす重力加重に対する弾性体の過渡的応答 | #亀伸樹・木村将也(東大地震研) |
| 15:30 | S01-02 | 理論地震波形記録を教師データとした機械学習による震源決定の試み | #坪井誠司・杉山大祐(JAMSTEC) |
| 15:45 | S01-03 | ランダムな海洋重力波に対する海洋島の弾性応答 | #西田究(東大地震研) |
| 16:00 | S01-04 | 多重散乱の効果を考慮した内部減衰・散乱減衰の同時インバージョンの試み(2) | #小木曽仁(気象研) |
| 16:15 | S01-05 | 新燃岳での地震波速度時間変化における降水量の影響評価 | #水谷雄太・西田究(東大地震研) |
| 16:30 | S01-06 | Single-station reflection imaging of a low-velocity layer at Long Valley Caldera, California: The Magmatic System Roof? | #Nori Nakata(U. Oklahoma)・David R. Shelly(USGS) |
| 16:45 | S01-07 | 次世代型レシーバ関数：Trans-Dimensional Inversion によるグリーン関数の推定と海底地震計への応用 | #悪原岳(東大地震研)・Michael Bostock・Alexandre Plourde(UBC)・篠原雅尚(東大地震研) |

＊は招待講演

# ポスター　10月11日（木）10:30～12:00　ポスター会場（1階多目的展示ホール（A））
# S01, S03, S07, S16, S23

## S01.地震の理論・解析法

| | | |
|---|---|---|
| S01-P01 | 波線近傍にノードを限定した最短経路法による効率的な波線追跡 | #関口渉次(防災科研) |
| S01-P02 | 津波地震(スロー地震)規模推定手法の検討(3) | #田中昌之・勝間田明男(気象研) |
| S01-P03 | Wiener filterを用いたS波異方性検出の試み | #本多亮(温地研)・蓬田清(北大理) |
| S01-P04 | 地震波速度変化の統計的特徴(2) | #中原恒(東北大・理) |
| S01-P05 | 余震による地震動最大振幅の頻度分布と時間変化 | #澤崎郁(防災科研) |
| S01-P06 | 常時地球自由振動の振幅の長期的変動について | #功刀龍一・須田直樹(広島大理) |

## S03.地殻変動・GNSS・重力

| | | |
|---|---|---|
| S03-P01 | 四国地方の遷移領域における固着速度と微動個数レートの時間変化 | #落唯史(産総研) |
| S03-P02 | GNSS-A観測から見えてきた南海トラフ周辺の海底の地殻変動速度場の時間変化 | #石川直史・横田裕輔(海洋情報部) |
| S03-P03 | マルチチャンネル特異スペクトル解析法を用いた房総沖スロースリップ域の海底圧力計データの解析 | #村田耕一・佐藤利典・長谷川晟也・河野昭博(千葉大)・塩原肇・八木健夫・山田知朗・篠原雅尚(東大地震研) |
| S03-P04 | GEONETに基づく2018年6月房総半島SSEの滑り分布モデル | #小沢慎三郎・矢来博司(国土地理院) |
| S03-P05 | 2018年房総半島沖スロースリップイベントに伴う傾斜変動および地震活動の特徴 | #木村尚紀(防災科研) |
| S03-P06 | ALOS/PALSARデータの干渉SAR時系列解析による相模湾沿岸地域の地殻変動 | #道家涼介(温地研) |
| S03-P07 | InSAR時系列解析による太平洋沿岸の岬周辺における定常的地殻変動 | #安藤忍・小林昭夫(気象研究所) |
| S03-P08 | 東北地方太平洋沖地震前15年間の地殻変動から推定したプレート間の固着・非地震性すべりの時空間分布 | #田中もも・吉岡祥一(神戸大) |
| S03-P09 | ひずみデータを用いたすべり量分布の解析について | #露木貴裕(気象研) |

## S07.地球及び惑星の深部構造と物性

| | | |
|---|---|---|
| S07-P01 | マグマオーシャン深部条件での珪酸塩メルトの粘性率測定 | 謝龍剣・#米田明(岡大惑星研)・肥後祐司・丹下慶範(JASRI) |
| S07-P02 | スラブ挙動に対する海溝後退速度の時間変化の影響に関する数値シミュレーション | #土田真愛・亀山真典(愛媛大GRC) |
| S07-P03 | Trans-dimensional Bayesian inversionによる大陸域の地殻―上部マントル速度構造推定 | #平亨・吉澤和範(北大理) |
| S07-P04 | $\eta$ $\kappa$を用いた太平洋及びオーストラリア周辺域の上部マントル3次元鉛直異方性構造 | #奥山秀弥・吉澤和範(北大理)・川勝均・一瀬健日(東大地震研) |
| S07-P05 | マルチモード表面波を用いたオーストラリア周辺域の上部マントル方位異方性 | #西村祐香・吉澤和範(北大理) |
| S07-P06 | Observation of a super-low velocity anomaly inside slab within the mantle transition zone beneath Kii peninsula | #Xin Long・Hitoshi Kawakatsu・Nozomu Takeuchi(ERI) |
| S07-P07 | 内核西半球内における1次元減衰・速度構造の地域特性 | #入谷良平・川勝均・竹内希(東大地震研)・D. Srinagesh(NGRI) |

## S16.津波

| | | |
|---|---|---|
| S16-P01 | 三陸海岸に分布する869年貞観津波に対比されるイベント堆積物の特徴 | #石村大輔(首都大) |
| S16-P02 | 北海道霧多布湿原における13・17世紀頃の海岸線の推定 | #伊尾木圭衣・澤井祐紀・行谷佑一・谷川晃一朗・松本彈・中村淳路(産総研)・嶋田侑眞(筑波大) |
| S16-P03 | 1707年宝永地震の津波痕跡高を再現する特性化波源断層モデルの作成 | #鬼頭直(応用地質)・平田賢治・藤原広行・中村洋光(防災科研)・松山尚典(応用地質)・村田泰洋(国際航業)・阿部雄太(CTC) |
| S16-P04 | 「1768年明和沖縄本島南西沖地震津波」に関する一考察 | #土肥裕史・平田賢治・藤原広行(防災科研) |
| S16-P05 | 1906年エクアドル・コロンビア地震の津波波源の再検討 | #吉本昌弘・熊谷博之(名大環境) |
| S16-P06 | 富山新港の1秒サンプリング潮位記録と短周期先行津波 | #川崎一朗(東濃地科研)・河合雅司(富山高専)・石森繁樹(富山高専名誉教授)・西村卓也(京大防災研) |
| S16-P07 | 東北地方太平洋域地震の隣接地域における想定海溝型巨大地震に伴う津波の数値シミュレーション | #長田史應(大阪大)・吉岡祥一(神戸大)・馬場俊孝(徳島大) |
| S16-P08 | アウターライズ地震津波のデータベース構築に向けた津波計算モデルの感度解析 | #馬場俊孝(徳島大)・近貞直孝(防災科研)・中村恭之・藤江剛・尾鼻浩一郎・三浦誠一・小平秀一(JAMSTEC) |
| S16-P09 | 北陸3県における津波ハザード評価～将来の地震に対する災害軽減を目指して～ | #大堀道広(福井大原子力研)・益川優里(建設技術研究所)・小嶋啓介(福井大工) |
| S16-P10 | 山陰沖～九州沖の海域活断層による日本海沿岸部の津波高 | #佐竹健治(東大地震研)・Aditya Riadi Gusman(GNS Science)・五島朋子(東大地震研)・室谷智子(国立科学博物館)・石辺岳男(地震予知振興会) |
| S16-P11 | 南西諸島海溝を対象とした確率論的津波ハザード評価のための特性化波源断層モデル | #大嶋健嗣(応用地質)・平田賢治・藤原広行・中村洋光(防災科研)・松山尚典・鬼頭直(応用地質)・村田泰洋(国際航業)・是永眞理子(CTC) |
| S16-P12 | 南西諸島海溝における確率論的津波ハザード評価のための津波予測計算 | #齊藤龍(国際航業)・袴田智哉(CTC)・大嶋健嗣・鬼頭直(応用地質)・村田泰洋(国際航業)・松山尚典(応用地質)・是永眞理子(CTC)・中村洋光・平田賢治・藤原広行(防災科研) |
| S16-P13 | 南西諸島海溝における確率論的津波ハザード評価：確率設定方法と評価結果について | #阿部雄太・袴田智也・是永真理子・秋山伸一(CTC)・鬼頭直(応用地質)・村田泰洋(国際航業)・平田賢治・藤原広行(防災科研) |
| S16-P14 | 津波遡上即時予測情報を用いた被害推定システムの試作 | #中村洋光・高橋郁夫・藤原広行(防災科研) |
| S16-P15 | データベース検索型津波遡上即時予測システム：オフラインシステムによる検証 | #三好崇之・鈴木亘・近貞直孝・青井真(防災科研) |
| S16-P16 | F-netメカニズム解およびERI_WPHASE解を用いた遠地津波伝播に関する即時計算システムの開発 | #中村武史・鈴木 亘・近貞直孝・高橋成実(防災科研)・鶴岡弘(東大地震研)・木村武志・木村尚紀(防災科研) |
| S16-P17 | 南太平洋を波源とする遠地津波振幅の時間推移 | #山本剛靖(気象研) |
| S16-P18 | 遠地津波計算におけるブシネスク型分散と数値分散利用モデルの比較 | #木村健吾・馬場俊孝(徳島大学大学院) |
| S16-P19 | 津波地震（スロー地震）の近地波形の推計とそれに基づくマグニチュード推定の考察 | #西宮隆仁・勝間田明男(気象研) |
| S16-P20 | 四国沖大陸棚斜面の海底地すべりの地形調査 | #権容大・馬場俊孝(徳島大学大学院)・松野哲男・林美鶴(神戸大学)・市原寛(名古屋大学) |

## S23.地震活動とその物理

| | | |
|---|---|---|
| S23-P01 | 離れた地震の揺れに起因する地下の流体流動～検出方法と地熱地域への適用～ | #岡本京祐・浅沼宏・田中勇希(産総研) |
| S23-P02 | 豊後水道から日向灘にかけてのb値時空間分布 | #千葉慶太(九大地震火山セ) |
| S23-P03 | 根室沖の震源決定精度の検討 | #一柳昌義・高橋浩晃(北大地震火山セ)・Iurii LEVIN(サハリン地震観測所) |
| S23-P04 | 紀伊半島北西部における岩相と地震活動の関係 | #前田純伶・大坪 誠(産総研)・松澤 暢(東北大理) |
| S23-P05 | 最近の気象庁一元化震源の動向 | #上野寛・上田満治・森脇健(気象庁)・溜渕功史(気象研) |
| S23-P06 | 四国・日向灘地域におけるスロースリップイベントの数値シミュレーション | #松澤孝紀(防災科研)・芝崎文一郎(建築研) |
| S23-P07 | 豊後水道GNSS観測網で捉えた2015年12月～2016年3月頃の小規模なスロースリップイベント | #廣瀬仁(神戸大)・松島健(九大理)・田部井隆雄(高知大)・西村卓也(京大防災研) |
| S23-P08 | MUSIC法を用いた紀伊半島周辺の深部低周波微動のアレイ解析 | #寒河江皓大・中原恒・西村太志(東北大理)・今西和俊(産総研) |
| S23-P09 | 「スロー地震データベース」の構築と運用 | #田中優作(東大地震研)・加納将行(東北大理)・麻生尚文(東工大理)・松澤孝紀(防災科研)・井出哲(東大理)・小原一成(東大地震研) |
| S23-P10 | 2017年9月8日に秋田県南部で発生したM5.2の地震の震源過程・破壊伝播指向性・応力降下量と、東北日本の偏差応力 | #吉田圭佑(東北大・理)・齊藤竜彦(防災科研)・江本賢太郎・松澤暢(東北大・理) |
| S23-P11 | 東海地域のスラブ内地震の特性 | #鈴木貞臣・村上理(東濃地震研)・V. M. タン・V. V. ブング(ベトナム地物研)・木股文昭(東濃地震研) |
| S23-P12 | 南極，東オングル島における複数地震計アレイ観測 | #中元真美(地震予知振興会)・金尾政紀(極地研) |
| S23-P13 | 四国西部のスロー地震発生域における稠密アレイを用いたレシーバー関数解析 | #疋田朗・小原一成・加藤愛太郎・竹尾明子・悪原岳(東大地震研)・前田拓人(弘前大理工) |
| S23-P14 | 南海トラフ西部におけるスロースリップイベントの震源パラメータ | #高木涼太・内田直希・長谷川昭(東北大)・小原一成(東大地震研) |
| S23-P15 | OBS観測による駿河湾の地震活動について―駿河湾における最近の地震活動の特徴― | 馬場久紀(東海大海洋)・#西宮隆仁・中田健嗣・小林昭夫・勝間田明男・(気象研)・対馬弘晃(気象庁)・澤田義博・笠原敬司・Panayotopoulos Yannis・阿部信太郎(地震予知振興会)・曽谷太洋・中尾凪佐(東海大院海洋) |
| S23-P16 | 天草地震空白域における非弾性ひずみの検出 | #湯浅雄平(九大理)・松本聡・松島健(九大地震火山セ)・中尾茂(鹿児島大理工)・大倉敬宏(京大火山研究セ) |
| S23-P17 | 1997-2010年における東海地方スロースリップイベントの時空間発展の推定 | #坂上啓(京大理)・西村卓也(京大防災研)・福田淳一(東大地震研)・加藤照之(温地研) |
| S23-P18 | 三つの津波地震の前震活動に関する地域性及び時空間的特徴の評価 | #劉弋鋒・伊藤喜宏・太田和晃(京大防災研)・片上智史(京都大学理学研究科) |
| S23-P19 | 南西諸島北部の海域及び島嶼域における地震観測によるプレート境界面形状の推定(5) | #八木原寛・仲谷幸浩・平野舟一郎・小林励司・宮町宏樹・中尾茂(鹿児島大)・馬越孝道(長崎大)・内田和也・松島健・清水洋(九州大)・中東和夫(東京海洋大)・山下裕亮(京大防災研)・阿部英二・池澤賢志・諏訪祥士・山田知朗・篠原雅尚(東大地震研) |
| S23-P20 | 蔵王山直下の深部低周波地震活動 | #池谷拓馬・山本希(東北大理) |
| S23-P21 | 室内実験における摩擦構成則と地震発生サイクル | #山口哲生・西澤祐希・澤江義則(九大工) |
| S23-P22 | 東北日本で発生する深部低周波地震のスペクトル特性 | #小菅正裕・春山太一(弘前大理工) |
| S23-P23 | 十勝沖・三陸沖における低周波微動活動 | #田中佐千子・松澤孝紀・浅野陽一(防災科研) |
| S23-P24 | 長期孔内観測点とDONETデータによる南海トラフ浅部ゆっくりすべりモニタリング | #鈴木健介・荒木英一郎・木村俊則・町田祐弥・堀高峰(JAMSTEC)・高橋成実(NIED/JAMSTEC)・小平秀一(JAMSTEC) |
| S23-P25 | 広帯域海底地震計の近地記録に基づく浅部VLFEとtremorの関係 | #藤亜希子・井出哲(東大理)・Wu-Cheng Chi(台湾中央研究院) |
| S23-P26 | 高密度観測網AS-netで捉えられた東北地方北部～北海道南西部の低周波イベントの分布と特徴 | #野口科子・関根秀太郎・澤田義博・笠原敬司・佐々木俊二・田澤芳博・矢島浩・阿部信太郎・石田貴美子(振興会) |
| S23-P27 | 2018年4月14日に発生した愛知県西部の地震の地震波放射エネルギー | #村上理(東濃地震研) |
| S23-P28 | Signals in Transition from Deformation to Failure | #Miki Yamamoto, Takane Hori, Osamu Kuwano, Hide Sakaguchi(JAMSTEC) |

## ポスター　10月10日（水）16：45～18:15　ポスター会場（1階多目的展示ホール（A））

**S25. 2018年9月6日北海道胆振地方中東部の地震**

| | | |
|---|---|---|
| S25-P01 | 平成30年北海道胆振東部地震の活動概要 | 宮岡一樹・尾崎友亮・ #上野寛（気象庁地震火山部）・ 高橋博（札幌管区気象台） |
| S25-P02 | 平成30年北海道胆振東部地震の評価 | #菅ノ又淳一・望月将志・佐藤雄大（文部科学省）・尾崎友亮（気象庁）・黒石裕樹（国土地理院） |
| S25-P03 | 平成30年北海道胆振東部地震における地盤災害の特徴 | #廣瀬亘・加瀬善洋・川上源太郎・石丸聡・高橋良・奥水健一・小安浩理（北海道立総合研究機構地質研究所） |
| S25-P04 | 2018年北海道胆振東部地震の高震度地域における単点微動観測 | #高井伸雄（北海道大学）・重藤迪子（九州大学）・前田宜浩（防災科学技術研究所）・一柳昌義・高橋浩晃（北海道大学） |
| S25-P05 | 2018年北海道胆振東部地震の高震度地域における臨時強震観測 | #重藤迪子（九大）・高井伸雄（北大工）・前田宜浩（防災科研）・一柳昌義・高橋浩晃（北大理） |
| S25-P06 | 平成30年北海道胆振東部地震の液状化地点分布とその特徴 | #先名重樹・小澤京子（防災科研） |
| S25-P07 | 2018年北海道胆振東部地震の本震-余震活動 | #勝俣啓・大園真子・青山裕・田中良・高田真秀・一柳昌義・山口照寛・岡田和見・高橋浩晃（北大理）・酒井慎一（東大地震研）・松本聡（九大理）・岡田知己（東北大理）・中尾茂（鹿児島大理）・寺川寿子（名大理）・小菅正裕（弘前大理）・飯尾能久（京大防災研）・2018年胆振東部地震合同地震観測グループ |
| S25-P08 | 三次元速度構造hyopoDDを用いた北海道胆振地方中東部の地震の余震分布推定 | #勝間田明男（気象研） |
| S25-P09 | 震源域付近の速度構造を考慮した上での2018年北海道胆振東部地震の震源再決定 | #堀川晴央（国立研究開発法人 産業技術総合研究所） |
| S25-P10 | 胆振東部地域下における三次元速度構造を用いたDD法による震源再決定 | #北佐枝子（建築研究所） |
| S25-P11 | 2018年北海道胆振東部地震の初期段階の破壊過程 | #小割啓史・小松正直・竹中博士（岡山大学） |
| S25-P12 | 平成30年北海道胆振東部地震の強震動と震源過程 | #浅野公之・岩田知孝（京大防災研） |
| S25-P13 | 経験的グリーン関数法を用いた2018年北海道胆振東部地震の強震動シミュレーションと震源モデル | #染井一寛・宮腰研（地盤研） |
| S25-P14 | 2018年北海道胆振東部地震の震源断層の破壊過程の推定－経験的グリーン関数による波形インバージョン | #野津厚（港湾空港技術研究所） |
| S25-P15 | ハイブリッドヒューリスティック法を用いたEGFに基づく2018年北海道胆振東部地震のSMGAの推定 | #元木健太郎・加藤研一（小堀鐸二研究所） |
| S25-P16 | スペクトルインバージョン解析に基づく平成30年北海道胆振東部地震の震源特性・伝播経路特性・サイト増幅特性の評価 | #友澤裕介・加藤研一(小堀鐸二研究所)・野尻揮一朗(北海道電力) |
| S25-P17 | スペクトル距離減衰式を用いた2018年北海道胆振東部地震の震源近傍の地震動特性の把握 | #吉田昌平・香川敬生・野口竜也（鳥取大院工） |
| S25-P18 | Moho面に近い震源深さを持つ地震による波動場：2018年北海道胆振東部地震と2001年芸予地震の比較 | #筧楽麿（神戸大学大学院理学研究科） |
| S25-P19 | 北海道胆振東部地震と既往の距離減衰式の比較 | #西村利光・宮腰研（地域地盤環境研） |
| S25-P20 | GNSSデータに基づく石狩低地東縁断層帯周辺のひずみの時空間分布と地震活動によるその収支について | #大園真子・高橋浩晃・伊藤ちひろ（北大理） |
| S25-P21 | 平成30年北海道胆振東部地震に伴う地殻変動 | #矢来博司（国土地理院） |
| S25-P22 | ALOS-2のSAR干渉画像で見る北海道胆振東部地震で現れた地盤変動 | #藤原智・中埜貴元・森下遊・小林知勝・矢来博司・宇根寛・林京之介（国土地理院） |
| S25-P23 | K-NET,KiK-net記録を用いた北海道胆振東部地震の近地変位波形の計算:DONET強震計での近地記録の場合との比較 | #水谷歩・蓬田清（北大理） |
| S25-P24 | 2018年北海道胆振東部地震による石狩低地東縁断層帯のΔCFFの時間変化 | #大谷真紀子・今西和俊（GSJ, AIST） |
| S25-P25 | 日高衝突帯前縁部のリソスフェア構造と北海道胆振東部地震 | #津村紀子（千葉大）・岩崎貴哉（東大）・伊藤谷生（明大）・在田一則（北大）・佐藤比呂志・蔵下英司・平田直（東大）・松原誠（防災科研）・野田克己（JGI）・藤原明（JOGMEC）・阿部進（JAPEX）・菊池伸輔（JGI）・鈴木和子(シュランベルジェ) |
| S25-P26 | 平成30年北海道胆振東部地震と震源域周辺における浅部地下構造 | #岡田真介（ 東北大学災害科学国際研究所）・山口和雄・横倉隆伸（産業技術総合研究所）・阿部進（石油資源開発（元：地球科学総合研究所））・住田達哉・牧野雅彦（産業技術総合研究所） |
| S25-P27 | 最近の地震に関するスライド教材の試作－2018年9月6日北海道胆振地方中東部の地震を例に－ | #小林励司（鹿児島大理工） |

S25 はすべて予稿無し

## ○会場内の案内図